

教 育 施 策 の 推 進 状 況

(市 長 部 局 関 係 分)

「大牟田市まちづくり総合プラン」より

市長部局関係分においては、総合計画「大牟田市まちづくり総合プラン」第1編に掲げる社会教育、スポーツ及び文化の関係施策に係る実績を掲載しています。

なお、同編第1章については、主として子育て支援に係る施策であるため、施策自体の評価は行わず、関係事業の実績のみ掲載しています。

「大牟田市まちづくり総合プラン」施策体系（関係分の抜粋）

第1編 はぐくみ 未来を拓く人がはぐくまれています

第1章 安心して子どもを産み、育てることのできるまち

視点1 地域における多様な子育て支援

第2章 心豊かでたくましい青少年がはぐくまれるまち

視点1 子どもの体験活動の充実

視点2 社会の宝として、地域全体で子どもたちを見守り、育てる

視点3 スポーツ・文化芸術活動を通じた青少年の心身の育成

視点4 青年の社会参加の促進

視点5 青少年の問題行動や悩みへの対応

第5章 生涯学習が盛んで、その成果が活かされるまち

視点1 学習機会の充実

視点2 学習成果を活かす仕組みづくり

視点3 地域での学習活動の支援

第6章 スポーツを通して生きがい満ち、活気にあふれるまち

視点1 気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり

視点2 スポーツ活動を支える仕組みづくり

視点3 スポーツがしやすい環境づくり

第7章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち

視点1 まちの歴史や文化を知る・学ぶ

視点2 文化芸術事業の充実

視点3 文化芸術活動への参加機会の充実

視点4 文化芸術の環境づくり

成果指標の平成31(令和元)年度実績値

施策	成果指標	現状値 (H26年度)	目標値 (R元年度)	実績値 (R元年度)	達成度 (R元年度)
(第1章 安心して子どもを産み、育てることのできるまち)	(本施策の成果指標は、「子育てしやすいと思っている市民の割合」(保健福祉部所管)であるため掲載していません。)				
第2章 心豊かでたくましい青少年がはぐくまれるまち ※点検・評価の対象	子どもの育成や見守り活動への参加率	16.5%	25.0%	14.7%	58.8%
第5章 生涯学習が盛んで、その成果が活かされるまち ※点検・評価の対象	1年間に、何らかの学習活動を行った市民の割合	43.8%	60.0%	50.7%	84.5%
	学んだ成果を活かすことができたと回答した市民の割合	74.2% (H23年度)	85.0%	70.9%	83.4%
第6章 スポーツを通して生きがい に満ち、活気にあふれるまち ※点検・評価の対象外	1年間のうち、週1回以上の運動・スポーツの実施率	25.3%	45.0%	46.3%	102.9%
第7章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち ※点検・評価の対象外	1年間のうち、何らかの文化芸術活動(テレビやインターネット等での鑑賞は除く)への参加率	23.8%	40.0%	20.9%	52.3%

※太枠内の実績値(R元年度)は、「まちづくり市民アンケート」集計結果による(18歳以上の市民1,000人を無作為抽出して実施し、623人が回答)。

平成31（令和元）年度重点事業（市長部局）

まちづくり総合 プラン第1編		事業名	ページ
章	視点		
2	1・2	通学合宿支援事業	67
2	1	子ども読書推進事業	68
2	1	子ども未来デッサン事業	69
5	1	多様な学習機会提供事業	70
5	2	生涯学習ボランティア登録派遣事業	71
7	1	近代化産業遺産活用事業	72

平成31（令和元）年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：生涯学習課）

事業名	【まちづくり総合プラン第1編第2章】心豊かでたくましい青少年がはぐくまれるまち （視点1）子どもの体験活動の充実／（視点2）社会の宝として、地域全体で子どもたちを見守り、育てる 通学合宿支援事業（76～78ページ参照）
------------	---

目的	子どもが、家事などの日常生活を自分自身で行うことにより、規則正しい生活習慣を身につけ、働くことや協力することの大切さを理解し、自主性や協調性、自尊感情を高めます。また、地域の大人が、ボランティアとして関わることにより、地域住民同士の交流を深め、子どもを地域で育てようとする機運を高めます。この事業を継続することにより、地域における子育て環境の充実を図ります。
-----------	---

事業内容	通学合宿は、子どもたちが親元を離れ、地域の人々の協力を得て、公民館等に寝泊りしながら学校外の生活を自分たちの力で行う事業です。市は、子どもたちの健全育成及び子どもを地域全体で育てようとする機運を高めることを目的とし通学合宿事業を支援します。地域は、実行委員会の立上げ、参加者及びボランティアの募集、子ども準備会等を経て通学合宿を実施します。また、初めて実施する校区においては、市が実行委員会と共催で通学合宿（モデル事業）を行い、通学合宿の運営手法の確立を図ります。モデル事業の中でボランティア養成講座を実施します。講座受講後、すぐに活動に参加することで、活動の意義や必要性を理解し喜びも感じていただく等、子どもを地域で育てる活動へつながる取組みとします。
-------------	---

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
通学合宿を実施している校区数	目標値(校区)	6	7	8	9	実施校区が増えることにより、子どもの体験活動の場と機会が増え、地域における子育て環境が充実します。
	実績値(校区)	5	6	7	5	
	達成度(%)	83.3	85.7	87.5	55.5	

取組実績	<ul style="list-style-type: none"> 通学合宿を実施する5団体に対し、補助金の交付及び合宿当日の助言や人的支援を行いました。5団体合計で99人の子どもたちと実人数178人（延べ452人）のボランティアが参加しました。 モデル事業（新規）については、地域団体等と協議を重ね調整を行ったものの、事業を行える十分な体制が整っていないことから実施には至りませんでした。また、減少した2校区についても実施に向けた調整を行いました。前年度よりもボランティアの確保が厳しいなどの理由により実施には至りませんでした。
-------------	--

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越）					172千円

問題点及び課題	<ul style="list-style-type: none"> 通学合宿を地域で実施するには、地域・保護者・学校の理解と協力が不可欠であることから、機会を捉えて事業の理解の促進に取り組むことが必要です。 地域の自立性を促すため、事業の簡素化や事業内容の明確化を図る等、地域の負担感や不安感を解消するための仕組みづくりが必要です。
----------------	---

今後の方向性（具体策）	<ul style="list-style-type: none"> 実施団体を増やすため、通学合宿を既に実施している校区の記録写真や実施後の子ども達の感想等を示す等、より分かりやすく、事業の重要性を感じてもらえるような説明を行い理解の促進に取り組みます。 事業のマニュアル化を図り、通学合宿実行委員会にマニュアルに沿った事業実施を案内する等、実行委員会の自立を支援します。
--------------------	---

評価	目標より4校区少ない実績となりました。新規開設の校区だけでなく、既に実施している校区が今後とも継続していけるような働きかけを行い、より多くの子どもに体験の機会を提供できるよう取り組みます。
-----------	--

平成31（令和元）年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：生涯学習課）

事業名	【まちづくり総合プラン第1編第2章】心豊かでたくましい青少年がはぐくまれるまち （視点1）子どもの体験活動の充実 子ども読書推進事業（78～80ページ参照）
-----	---

目的	多くの子どもが、読書の楽しさを知り、自主的に読書活動を行うようになります。
----	---------------------------------------

事業内容	<p>①家庭・地域・学校での、子どもの発達段階に応じた読書活動推進、②各関係団体、機関の連携や協力の推進、③子どもの読書活動に関する理解と関心の普及啓発により、子どもの読書活動の環境づくりを進めます。</p> <p>具体的には、ブックスタート事業、各種おはなし会の充実、ヤングアダルトコーナーの充実、子ども読書に関する啓発などに取り組みます。</p> <p>また、現行の計画期間がR元年度までとなっている「大牟田市子ども読書推進計画」を改訂します。</p>
------	--

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
児童書の貸出し冊数	目標値（冊）	162,000	163,000	164,000	165,000	子どもの数が減少していく状況にあっても、H27年度の実績（16万1千冊）から毎年1千冊増加。
	実績値（冊）	158,348	160,542	157,752	149,056	
	達成度（％）	97.7	98.5	96.2	90.3	

取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ブックスタート事業 全新生児に、ブックスタートパック（絵本、布バッグ、リーフレット）を配布するとともに、フォローアップ講座「赤ちゃんとのコミュニケーション講座」を実施しました。 中学生読書活動サポーター養成講座 全3回講座を実施し、11人の読書活動サポーターを養成しました。 大牟田市子ども読書推進計画の改訂 第三次計画を策定しました。 子ども読書に関する啓発 4月23日の子ども読書の日にあわせ、広報おおむたに特集ページでの掲載を行うとともに、全児童・生徒にチラシを配布。市立図書館においては関連イベント等を実施しました。 <p>※その他、市立図書館では、おはなし会の充実（毎週3回）やヤングアダルトコーナーの充実に取り組みました。</p>
------	--

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越）	1,013 千円		36 千円		977

問題点及び課題	<ul style="list-style-type: none"> 指標の達成度は90.3%となっており、前年度から比較すると8,696冊減少しています。 学校や施設などの団体利用者に対し、まとまった冊数の図書資料を一括して貸し出す「団体貸出」を広く周知し、利用しやすい環境を整えるなど、貸出冊数を増やす取組みを進めていく必要があります。 市立図書館での「赤ちゃんとのコミュニケーション講座」をはじめとした各種おはなし会の参加者数は、子どもの数の減少とともに減少傾向です。乳幼児期から小学生の時期までの間に読書習慣が形成されるよう、子どもや保護者が気軽に市立図書館を気軽に利用できる環境づくりを更に進めていく必要があります。
---------	--

今後の方向性（具体策）	<ul style="list-style-type: none"> 市立図書館を核とした子どもの読書活動に関係する機関との連携を促進するため、意見交換できる場を構築していきます。 子どもの読書活動を推進するためには、子どもだけではなく、保護者など周りの大人が、読書活動の大切さについて理解することが重要であることから、子どもの頃から読書に親しむことの重要性や、読書が子どもに与える影響についての理解・啓発を図ります。
-------------	---

評価	目標値には到達することができず、前年度と比較しても貸出冊数が減少しています。市立図書館や学校をはじめとした関係機関との連携を進めるとともに、子どもの読書活動の大切さについての理解促進・啓発を図り、子どもの読書活動の推進を図っていきます。
----	--

平成31（令和元）年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：地域コミュニティ推進課）

事業名	【まちづくり総合プラン第1編第2章】心豊かでたくましい青少年がはぐくまれるまち （視点1）子どもの体験活動の充実 子ども未来デッサン事業（80ページ参照）
------------	--

目的

現実的な将来を考え始める小学校高学年（小学4年～6年生）の児童が、自分の将来の目標をみつけるとともに、未来に向かって頑張る姿勢を持つようになります。また講師にとっては、自分が培った知識や体験を活かす機会となります。

事業内容

子どもたちがこれからの夢を抱ききっかけづくりや目標の設定、将来の選択肢を広げるために、いろいろな仕事に携わる職業人から、子どもの頃の経験やその職業を目指したきっかけ、夢の実現のために頑張ったこと、現在の職業の様子などを聞く機会をつくります。また、講義とともに、実際にその職業に関連する内容で体験を行い、子どもの興味を促すような取組みにします。

職業については、13歳のハローワークや小学校6年生の将来の夢、受講した子どものアンケートなどを参考に、様々な観点から年間6業種程度を選定します。また、講師には地元で活躍する若い世代の職業人を中心に依頼し、自身の仕事を見直す機会やモチベーションアップにもつながるよう取り組みます。

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
夢や将来のことを考えたり思ったりした参加者の割合（参加者アンケート）	目標値（%）	—	—	95.0	97.0	自分の夢や将来のことを考え、「未来の自分の姿」を描くことができるようになることを目指し、目標値を30年度95%、元年度97%と設定しました。
	実績値（%）	—	—	89.7	95.0	
	達成度（%）	—	—	94.4	97.9	
チャレンジ意識を持てるようになった参加者の割合（参加者アンケート）	目標値（%）	100	100	—	—	児童全員が事後のアンケートで「自分も何かを頑張ってみようと思った」と回答することを目指して取り組みます。
	実績値（%）	97.9	98.0	—	—	
	達成度（%）	97.9	98.0	—	—	

取組実績

- ・学芸員・学習指導員（御船町恐竜博物館 富澤 由規子氏、ダウイット・キャブレール氏）
..... 8月 3日／受講者11人
- ・薬剤師（社会医療法人 親仁会 米の山病院 薬剤師）..... 8月17日／受講者30人
- ・グラフィックデザイナー・イラストレーター（馬場 真帆氏）..... 9月14日／受講者20人
- ・和菓子職人（森 史朗氏）..... 11月23日／受講者27人
- ・寿司職人（三浦 好生氏）..... 12月 1日／受講者20人
- ・フラワーデザイナー（磯濱 玄海氏）..... 12月 7日／受講者21人

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越）	86 千円 千円				86

問題点及び課題

- ・H30年度に定員を増加し、各講座30人としましたが、小学4～6年生の児童を対象に、講義を中心に体験も行う講座であるため、講師に趣旨を理解してもらう必要があります。また、児童はじめ保護者にも講座の趣旨を理解してもらうため、周知の工夫が必要です。
- ・これまで受講者募集の際に講師名を公表していませんでしたが、受講者の保護者等から公表すべきとの意見が複数あったため、R元年度より公表することとしました。
- ・受講者数については、講座によってばらつきがあるものの、職業の選択や、周知など工夫をしたことにより、延べ受講者で25人の増加となり、一定の成果があったものと思われま。

今後の方向性（具体策）

- ・講師の生き方や体験を「聴く」ことにより、未来の自分の姿を思い描き、夢を実現するためのきっかけづくりとなる講座であるため、募集の段階から児童はじめ保護者にも趣旨を理解してもらうよう工夫します。
- ・講義を中心に体験も行う講座であるため、講師との十分な打合せの時間を設けるなど、趣旨を十分に理解してもらうよう工夫します。また、地域の人材を積極的に活用することとします。
- ・子どもたちが夢や将来のことを考えられるよう、また、講師も子どもたちに教えることで喜びややりがいを感じ、自身の仕事に対して再確認できる機会となるよう、内容充実を図ります。

評価

対象者のニーズに即しており、児童の社会性をはぐくむ事業です。大人（職業人）の「子どもを地域で育てる意識」の醸成、社会全体で青少年を見守りはぐくむ環境づくりにも寄与しています。また講師自らが学んだ成果を発表する場にもなっています。

平成31（令和元）年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：生涯学習課）

事業名	【まちづくり総合プラン第1編第5章】生涯学習が盛んで、その成果が活かされるまち （視点1）学習機会の充実 多様な学習機会提供事業（89・90ページ参照）
------------	--

目的
 市民自ら策定した「大牟田市生涯学習まちづくり推進基本構想」に基づいて、市民、行政、企業が主体的に生涯学習を推進することで、「いつでも、どこでも、誰でも楽しく学習でき、その学んだ成果が適切に活かされる社会」を実現します。

事業内容
 生涯学習まちづくり推進本部（市民主体の組織）の「生涯学習ボランティア登録派遣事業」、「企業出前講座」、生涯学習まちづくり推進会議（庁内組織）の「メニューいろいろまちづくり出前講座」などの取組みを推進します。
 また、H30年度から取り組んでいる「大牟田市社会教育・生涯学習基礎調査研究」によって、社会教育及び生涯学習に関する事業の再構築を図ります。

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
「企業出前講座」に参画する民間企業数	目標値（社）	—	5	10	15	多様な学習機会が提供できる社会になっているかを参画する企業数でみます。 ※H29年度から実施
	実績値（社）	—	8	11	14	
	達成度（%）	—	160	110	93.3	

取組実績

- 生涯学習ボランティアの派遣や企業出前講座など、市民や企業が主体となり実施する学習機会の充実を図るとともに、様々な媒体を通じて各事業のプロモーションを行うことで、市民の自主的な学習活動の促進につながりました。

＜生涯学習まちづくり推進本部＞

- 企業出前講座「がんばる地場企業」【企業】：14社31メニュー／33回／受講者 延827人
- 生涯学習ボランティア登録派遣事業【市民】：派遣回数 延876回（〔参考〕新型コロナウイルスの影響で開催を中止した回数：39回）／参加者 延57,334人
- 市民大学講座【高等教育機関との連携】：4回（帝京大学・有明高専）／受講者 延80人

＜生涯学習まちづくり推進会議＞

- メニューいろいろまちづくり出前講座【行政】：113メニュー／派遣回数 158回（〔参考〕新型コロナウイルスの影響で開催を中止した回数：8回）／受講者 延5,242人

＜その他＞

社会教育・生涯学習行政が果たすべき役割やそのあり方を考え、施策・事業の再構築を図ることを目的に社会教育・生涯学習基礎調査研究に取り組みました。その結果、人口減少の中にあっても「持続可能な社会の構築」を支える人づくりを課題とし、将来のまちづくりの担い手となる子どもたちを地域や社会全体で育てることを施策の中心に据えることとしました。

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越）	1,162 千円 千円				1,162

問題点及び課題

- 社会教育・生涯学習基礎調査研究の際に実施した市民意識調査では、インターネットを利用した学習機会を求める市民の声が多かったことから、このような学習ニーズを事業に反映させていくことが必要です。
- また、調査結果において、日頃学習を行っていない人（行えない人）が行政に対して求めることは、「講座・催し物に関する詳しい情報の提供」と回答した割合が最も高かったことから、学習機会やメニューの充実と併せて、情報提供の強化を図ることが必要です。

今後の方向性（具体策）

- 出前講座等の学習機会の利用を広げるため、SNS等を活用した情報発信に努めるとともに、いつでも、どこでも、誰でも学習できる環境を整備するため、インターネットを利用した学習機会として、市役所職員出前講座の動画（学習コンテンツ）配信を行っていきます。
- 学習機会の提供にあわせた情報発信のあり方の検討を行い、生涯学習に取り組もうとする人が、必要な情報をすぐに得ることができるようにします。

評価
 今後も市民・行政・企業が主体的に生涯学習によるまちづくりを推進していくことができるよう、情報発信と学習の機会を充実させていきます。

平成31（令和元）年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：生涯学習課）

事業名	<p>【まちづくり総合プラン第1編第5章】生涯学習が盛んで、その成果が活かされるまち （視点2）学習成果を活かす仕組みづくり 生涯学習ボランティア登録派遣事業（93・94ページ参照）</p>
-----	---

目的	<p>「いつでも、どこでも、誰でも楽しく学習でき、その学んだ成果が適切に活かされる社会」を実現するために、市民の方々が学んだ知識・技術を他の人々へ教える機会・場の提供を通して市民の間に学びの輪が広がることを目指します。</p>
----	---

事業内容	<p>市民から依頼があった学習ニーズ・要求に応じて、「生涯学習ボランティア登録者（市民）」をコーディネートし、派遣します（無料）。</p>
------	---

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
生涯学習ボランティア登録者の意欲の高まり	目標値（％）	—	100	100	100	学習の成果を人づくりやまちづくりに役立てたいと回答した割合
	実績値（％）	—	94.8	98.9	100	
	達成度（％）	—	94.8	98.9	100	
生涯学習ボランティア利用者の満足度	目標値（％）	100	100	100	100	次回も活用したいと回答した割合
	実績値（％）	99.7	99.8	99.8	100	
	達成度（％）	99.7	99.8	99.8	100	

取組実績	<p>・地域行事等への派遣充実の取組として地域の会議で事業の説明を行ったり、不特定多数の人が集まる場所で発表・展示を行うことにより、幅広い年齢層に生涯学習ボランティアの活動を知ってもらい、事業の活用促進や登録者の増加を図りました。また、ボランティアの活動機会の創出を図ることで、登録者に「学びを活かすことの喜び」を実感してもらい、学んだ成果を活かすことにつながりました。</p> <p><生涯学習まちづくり推進本部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R元年度生涯学習ボランティア登録者名簿「まなばんかん利用案内」（冊子）：2,000部発行 ・生涯学習ボランティア 延登録者数：1,569人 ・派遣回数：延876回（参加者数 延57,334人） ・利用者説明会（5月）／登録者説明会・交流会（6月）／表彰式・発表会（2月） ・道の駅「おおむた」花ぶらす館と連携したステージ発表・ワークショップ等のイベントの実施（8月、11月） ・SNSへの投稿や学習情報誌「まなびのカタログ」等でボランティア活動の様子を紹介し、活動機会を広げるための周知・PRを行いました。
------	--

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越）	617 千円				617 千円

問題点及び課題	<p>・生涯学習ボランティア登録者の高齢化とともに、メンバーの確保や後継者の育成等が困難な状況にある団体が増えていることから、登録者を確保するための取組が必要です。</p>
---------	--

今後の方向性（具体策）	<p>R2年度は、地域で活躍する人が持つ豊かな知識や経験を、次の世代に伝え、地域の人材育成に結びつけるよう、後継者育成・ノウハウ伝承のための取組みを企画・実施し、生涯学習ボランティア登録者の増加を図ります。また、地区公民館サークル等への働きかけ等、地域人材の掘り起こしを行います。</p>
-------------	--

評価	<p>利用者の満足度やボランティアを実践する人の意欲が共に高まって好循環となっており、学びの輪が広がっています。地域の会議での紹介をはじめ、様々な機会を通じて生涯学習ボランティアの情報発信に取り組み、ボランティア登録者の増加と活動機会の確保に取り組みます。</p>
----	--

平成31（令和元）年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：世界遺産・文化財室、総合政策課）

事業名	<p>【まちづくり総合プラン第1編第7章】文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち （視点1）まちの歴史や文化を知る・学ぶ</p> <p>近代化産業遺産活用事業（113・114ページ参照）</p>
------------	---

目的						
<p>市内に数多く残る三池炭鉱関連の近代化産業遺産の価値や歴史を市民等に伝え、理解していただくことで、まちへの愛着を育み、まちづくりの原動力としていきます。また、必要な修復、整備を行い、各資産を適切に管理していきます。</p>						
事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 近代化遺産一斉公開（炭鉱の祭典）や近代化遺産の理解促進に資する事業・イベントを実施します。 次世代を担う子どもたちの近代化産業遺産への理解促進を図るため、小学生を対象とした近代化産業遺産のバス見学会を実施します。 広報おおむたやホームページにより近代化産業遺産に関する情報を掲載し、資産の価値、保全や活用に対する理解促進を図ります。 資産の保存・活用に向け、「三池炭鉱跡の保存・公開・活用に関する計画」に基づき、宮原坑や専用鉄道敷跡の整備に向けた調査等を継続実施します。 大牟田市近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会や地域と連携し、イベント等各種啓発活動や清掃活動などに取り組むことで、近代化遺産をまちづくりに活かしていきます。 						
指標名	項目	H28	H29	H30	R1	指標・目標値設定の根拠
市民理解度	目標値（％）	87.0	90.0	93.0	96.0	近代化遺産一斉公開のアンケートで、施設の保存・継承に係る理解度を測る。（H27年度84%から毎年3%アップ）
	実績値（％）	82.4	93.7	91.2	89.2	
	達成度（％）	94.7	104.1	98.1	92.0	

取組実績						
<ul style="list-style-type: none"> 近代化遺産一斉公開（炭鉱の祭典）では宮原坑の地元住民はもとより、駿馬小学校、宮原中学校、三池工業高校が主体的に参加し、小・中・高連携の取り組みを進めることができました。 市内の全小学校19校の6年生（880人）を対象に近代化産業遺産のバス見学会を実施し、理解促進を図りました。 「三池炭鉱へようこそ」事業を実施し、宮原坑のガイドウォークや発掘現場説明会、旧長崎税関でのクラシックコンサート、ジャズコンサートを開催し世界遺産を身近に感じてもらう様々な取り組みを行いました。 H30年度に引き続き、近代化産業遺産ホームページへの施設の公開情報やイベント案内等の掲載、市内の世界遺産に関するパンフレットの作成、来訪者への「三池炭鉱ナビ」による施設案内など、資産の理解促進に資する取り組みを行いました。 資産への関心の高まりや愛着を深めるため、宮原坑や三川坑において、地域の人たちと花植えを行うなど、協働による環境美化活動を行いました。 H29年度に策定した「三池炭鉱跡の保存・公開・活用に関する計画」に基づき、宮原坑や専用鉄道敷跡の発掘・調査、測量を行いました。 						
決算		国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越）	26,806 千円 千円）	6,700	2,010			18,096

問題点及び課題

「炭鉱の祭典」では宮原坑の地元小学校、中学校や高校が主体的に参加するなど、地域の力で事業を実施することができましたが、理解度や来場者数は伸び悩んでおり、これまでと違った新たな取り組みが求められています。

今後の方向性（具体策）

- 旧長崎税関のジャズコンサートでは近代化遺産の建物の雰囲気を活かした文化芸術活動を行うことができました。このように郷土の歴史的価値を発信するのみならず、文化財の特色を活かした事業展開が必要です。
- 「三池炭鉱跡の保存・公開・活用に関する計画」に基づき、着実に整備等を進めます。

評価

小学6年生のバス見学会の定着などで、理解は進みつつあります。環境美化、イベント等各種啓発活動を継続しながら、より多くの市民が活動へ参画し、資産への関心を高める取り組みを今後も進めていきます。

施策名	<p>【まちづくり総合プラン第1編第1章】 安心して子どもを産み、育てることができるまち</p>
<p>市民が安心して子どもを産むことができ、子育てに幸せや楽しさを実感して暮らせるまちを目指します。</p>	

（視点1）地域における多様な子育て支援

子どもや家庭の実情に応じて、きめ細かく柔軟な子育て支援サービスの提供を行います。また、子育て情報や家庭教育に関する学習機会の提供、保護者同士のつながりへの支援、各関係機関との連携・情報の共有等、地域全体での子育て支援の環境づくりを行います。

【主な事業】

○家庭教育支援事業〔生涯学習課・公民館〕

（1）幼児期や就学前など発達段階に応じた子育て講座の実施

①就学前子育て講座〔生涯学習課・公民館〕

小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象に、入学説明会の機会を活用して家庭教育のあり方やしつけについての子育て講座を地区公民館と連携して実施しました。

19講座（19小学校区）参加者数729人（入学予定者数の83.2%）

②幼児期子育て講座〔生涯学習課〕

3歳から就学前までの発達段階に応じた子どもとの関わり方や生活習慣づくりの大切さ、子育ての楽しさを伝えることで、保護者自身の心の安らぎや成長を支援することを目的とし、幼児期の子どもを持つ保護者を対象に「幼児期子育て講座」、「親子リズム遊び」及び市で実施している子育て支援事業体験等を実施しました。

と き 7月7日（日）

と ころ えるる

参加者 79人

（2）子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕

地域の子育て中の保護者が子どもと一緒に気軽に集える場を提供し、利用者間の交流や子育てについての学びあいを支援するため、三池地区公民館と手鎌地区公民館において子育てふれあい広場を開設しています。

① 三池子育てふれあい広場（じゃじゃり子み〜け）・月曜日開設

大人延べ利用者数 194人

子ども延べ利用者数 221人

延べ利用者数 415人

開設日数 26日

② 手鎌子育てふれあい広場（れもんぐらす）・金曜日開設

大人延べ利用者数 331人

子ども延べ利用者数 347人

延べ利用者数 678人

開設日数 29日

③ ボランティアスキルアップ講座

子育て中の保護者が、子どもと一緒に安心して過ごせる子育てふれあい広場づくりを目指しつつ、本来の形であるボランティア中心の子育てふれあい広場の運営が難しいのが現状であったため、ボランティアのスキルアップを目的とする研修を実施しました。

と き	内 容	と ころ	参加者
8月30日(金)	・「ダンボールハウスを作ろう！」	手鎌地区公民館	8人
9月4日(水)	・「変化する子育て環境」 ・「交流会」	三池地区公民館	9人

(3) 子育て情報誌「おおむたっ子」の発行〔生涯学習課〕

子どもの様々な体験活動を充実させるとともに、家庭教育や次世代育成を支援するため、子どもの体験活動の機会や子育て支援に関する情報を収集・提供する事業を、市民ボランティアと行政で組織する運営委員会において実施しました。年3回(7月・11月・3月)発行し、発行数は延べ34,500部でした。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第2章】 心豊かでたくましい青少年がはぐくまれるまち
次世代を担う青少年が、家庭や学校、地域における様々な人との関わりの中で、社会を生き抜くたくましさを身に付けながら、創造性豊かで思いやりのある心を持ち、心身ともに健康に、社会の一員として成長し自立することを目指します。	

【視点1】子どもの体験活動の充実

思いやりの心や規範意識、社会性、自尊感情などをはぐくむために、地域における年齢の異なる仲間や大人との交流の機会を確保するとともに、自然体験をはじめとする様々な体験活動や読書活動の充実を図ります。

【主な事業】

○子どもの居場所づくり支援事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 子どもの居場所づくりに取り組む団体への補助

①子どもの居場所づくり運営費補助金の交付

各地域で自主的に「子どもの居場所」を開設する実行委員会等19団体（内訳：定期開設16団体・長期休業期間中開設2団体）に対して運営費の一部を補助しました。

H30年度から長期休業期間中のみ（夏休みや冬休み等）に開設する団体についても補助対象としました。

ア 市補助金交付団体【定期開設】 17団体

	交付団体名	開催数	経年
1	「なかよし広場」文化サークル実行委員会	月1回	15年目
2	友・遊広場見守り隊	月2回	15年目
3	三池みんなの広場実行委員会	月1回	15年目
4	吉野校区子どもの居場所委員会	月1回	15年目
5	平原小学校父母教師会	月1回	14年目
6	手鎌地区公民館子どもの居場所「わくわく広場」実行委員会	月2回	13年目
7	大牟田視聴覚教育クラブ	月1回	13年目
8	みんなの広場・羽山台世話人会	月1回	10年目
9	プレーパークおおむた遊ばせ隊	月1回	9年目
10	高取校区子どもの居場所実行委員会	月1回	9年目
11	にこにこ広場白川北実行委員会	月1回	9年目
12	大牟田市護身道連盟スポーツチャンバラ協会	月2回	8年目
13	みんなあつまれ子どもの居場所実行委員会	月1回	7年目
14	吉野ぼけっと実行委員会	月4回	6年目
15	ひまわり広場実行委員会	月4回	5年目
16	大正こどもの居場所実行委員会	月1回	2年目
17	げんきいっぱい白川っ子実行委員会	月1回	1年目

イ 市補助金交付団体【長期休業期間中開設】 2団体

	居場所（広場）名	開催数
1	東久福木キッズ☆プレイス実行委員会	5日
2	こどもの遊び場実行委員会	5日

ウ 自主運営等の団体数 3 団体

	居場所（広場）名	開催数
1	駛馬地区アンビシャス広場委員会	週 2 回
2	勝立地区アンビシャス広場委員会	週 2 回
3	三池・カルタ歴史資料館	休館日を除く毎日

※「自主運営等の団体」とは、市の補助金の交付を受けない団体をいいます。

エ 不定期開設運営等の団体数 2 団体

	居場所（広場）名	開催数
1	明治きらめき広場	年 2 回
2	上内なかよし広場	年 2 回

②啓発活動

- ア 各居場所の活動予定を示したポスターを毎月発行
- イ 子どもの居場所通信(第1～3号)の発行
- ウ 子ども会説明会での居場所啓発(4月14日(日))
- エ 「大牟田市子どもの居場所ガイドブック」を作成し、小学生全学年に配布(9月)

(2) 子どもの居場所等連絡協議会における情報交換、研修、体験活動の実施

①情報交換の開催(5月、11月)

大牟田市子どもの居場所等連絡協議会の情報交換会を年2回開催し、延べ40人が参加しました。

②研修会の開催

- と き R2年1月18日(土)
- と ころ 大正小学校 体育館
- 参加者 32人
- テーマ 折り紙ヒコーキ大会を実施しよう!
- 講 師 福岡県庁青少年アンビシャス運動推進班 安庭 正宏

③体験活動(「わくわく子どもまつり」)の実施

- と き R2年2月24日(月・祝)
- と ころ 手鎌地区公民館及びサンアビリティーズおおむた
- 参加者 子ども・保護者 721人
- 内 容 お手玉づくり、ちびっ子アニメ映画館、スポーツチャンバラ、おしばな教室、ぼうしのブローチ作り、プラ板ストラップ作り、フェルトの小物づくり、ガラクタ木片工作、松ぼっくりのはりねずみ作り、冒険パン作り、紙ヒコーキ遊び、フリスビーでビンゴ、大声大会、いもむしクリップ作りほか

●通学合宿支援事業〔生涯学習課〕(67ページ参照)

通学合宿とは、子どもたちが家庭を離れ、異年齢集団で地区公民館等に寝泊りしながら学校に通う取り組みです。買い物、食事作り、掃除等の身の回りの基本的なことは、ボランティアの支援のもと、子どもたちができるだけ自分たちで行います。

(1) 新規実施校区を対象とした通学合宿モデル事業

行政と校区の実行委員会が連携して通学合宿を実施することにより、今後地域が自主的な取組で通学合宿を実施するための準備期間とするとともに、通学合宿への認知度の向上を図ることを目的としています。R元年度は地域団体等と調整を行ったものの、実施には

至りませんでした。

(2) 県委託を受けて通学合宿を実施する団体への支援

県からの委託を受けて通学合宿に取り組む実行委員会に対し、県との連絡調整、事業実施に当たっての支援を行いました。R元年度は地域団体等と調整を行ったものの、実施には至りませんでした。

(3) 自主的な取組で通学合宿を実施する団体への補助

自主的な取組で通学合宿を実施する5団体（上内小学校通学合宿実行委員会、明治小通学合宿実行委員会、天の原校区通学合宿実行委員会、大牟田中央小通学合宿実行委員会、みなとっ子通学合宿実行委員会）に対して補助金の交付を行いました。

①上内小通学合宿

主 催 上内小学校通学合宿実行委員会
 と き 6月9日（日）～6月12日（水）（3泊4日）
 と ころ リフレスおおむた
 参加者 32人（4～6年生対象）
 ボランティア 実人数45人（延べ80人）（地域住民、保護者等）

②明治小通学合宿

主 催 明治小通学合宿実行委員会
 と き 7月10日（水）～7月13日（土）（3泊4日）
 と ころ 明治会館
 参加者 15人（4～6年生対象）
 ボランティア 実人数41人（延べ98人）（地域住民等、保護者等）

③天の原校区通学合宿

主 催 天の原校区通学合宿実行委員会
 と き 9月24日（火）～9月27日（金）（3泊4日）
 と ころ 勝立地区公民館
 参加者 12人（4～6年生対象）
 ボランティア 実人数21人（延べ98人）（地域住民等）

④大牟田中央小通学合宿

主 催 大牟田中央小通学合宿実行委員会
 と き 10月2日（水）～5日（土）（3泊4日）
 と ころ 中央地区公民館
 参加者 20人（4～6年生対象）
 ボランティア 実人数42人（延べ109人）（地域住民、高校生ボランティア等）

⑤みなとっ子通学合宿

主 催 みなとっ子通学合宿実行委員会
 と き 10月30日（水）～11月2日（土）（3泊4日）
 と ころ 三川地区公民館
 参加者 20人（4～6年生対象）
 ボランティア 実人数29人（延べ67人）（地域住民、高校生ボランティア等）

区分	4年生		5年生		6年生		合計（人）	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
上内小通学合宿	7	4	7	3	7	4	21	11
合計（人）	11		10		11		32	
明治小通学合宿	2	3	1	4	1	4	4	11
合計（人）	5		5		5		15	

天の原校区通学合宿	2	1	2	1	—	6	4	8
合計（人）	3		3		6		12	
大牟田中央小通学合宿	1	2	7	3	1	6	9	11
合計（人）	3		10		7		20	
みなとっ子通学合宿	3	7	4	3	2	1	9	11
合計（人）	10		7		3		20	
総合計（人）	32		35		32		99	

（４）通学合宿ボランティアの育成

通学合宿の意義と必要性を理解し、生活面での全般的な指導を行うことができるボランティアを養成することを目的として、新規で実施する校区を対象に通学合宿ボランティア養成講座を実施しています。R元年度は実績なし。

○子ども会活動支援事業〔生涯学習課〕

（１）ジュニアリーダー、イン・リーダーの育成

大牟田市子ども会育成者連絡協議会と共催で、市子ども会イン・リーダー養成講座を実施しました。

と き	内 容	と ころ	参加者
7月20日(土) ～21日(日)	危険予知トレーニング・竹細工体験・調理・仲間づくりゲーム	リフレスおおむた	28人
10月5日(土) ～6日(日)	危険予知トレーニング・防災訓練・調理・仲間づくりゲーム	リフレスおおむた	20人
R2年 1月26日(日)	ふれあいゲーム、調理、危険予知トレーニング	えるる	16人

（２）親善交流大会（ドッジビー大会、カルタ大会）

①ドッジビー大会

と き 9月16日（月・祝）
と ころ 第二市民体育館
参加者 4子ども会 8チーム 88人

②新年カルタ大会

と き R2年1月13日（月・祝）
と ころ 手鎌地区公民館
参加者 5子ども会 11チーム 46人

（３）子ども会（安全共済会）説明会の実施

と き 4月14日（日）
と ころ 労働福祉会館
参加者 40団体44人
内 容 子ども会の重要性や育成会の役割等

説明会終了後、子ども会安全共済会の加入受付を生涯学習課で受け付け、56団体が加入しました。

●子ども読書推進事業〔生涯学習課〕（68ページ参照）

R元年度は、子ども読書推進にかかる広報啓発とともに、「大牟田市子ども読書推進計画」に基づき、次のような取組みを行いました。

（１）ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者が、絵本をとおして、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける取組みとして、新生児に、絵本や布バッグ、お薦めの絵本やおはなし会の情報を紹介したリーフレット（ブックスタートパック）を配布するブックスタート事業を実施し、R元年度は718人の新生児に配布しました。

併せて、読み聞かせのやり方の実演や赤ちゃんと絵本を通してコミュニケーションを楽しむ体験ができる講座「赤ちゃんとコミュニケーション講座」を読書ボランティア及び市立図書館の協力により実施しました。

「赤ちゃんとコミュニケーション講座」実施状況

と き	参加者	と き	参加者
6月16日（日）	4組（9人）	11月24日（日）	3組（9人）
6月22日（土）	5組（11人）	11月30日（土）	4組（10人）
9月8日（日）	6組（16人）	R2年2月1日（土）	3組（7人）
9月14日（土）	3組（8人）	R2年2月9日（日）	3組（8人）

（会場は市立図書館）

（2）中学生読書活動サポーター養成講座

学校図書館で、読書活動サポーターとして活躍する生徒を養成する「読書活動サポーター養成講座」を実施し、6校11人の読書活動サポーターが誕生しました。

「中学生読書活動サポーター養成講座」実施状況

第1回	と き	11月2日（土）
	講師	市立図書館 館長・図書館職員（司書）
	内容	図書館の仕事と司書の役割を知ろう！ ①（講義） 図書館の仕事について ②（館内案内） 閉架図書・障害者サービス室等 ③（演習） 司書の仕事を経験 ～ブックカバー装丁～
第2回	と き	12月7日（土）
	講師	片山 茂（「本のPOP」インストラクター）
	内容	POP（ポップ）を作って本を紹介しよう！ ①（講義） お薦めの本を効果的に紹介する「POP」について ②（演習） 受講者お薦めの本のPOP作成
第3回	と き	12月14日（土）
	講師	梅野 智美（九州大谷短期大学 表現学科 情報司書フィールド講師）
	内容	おすすめの本を5分間で紹介しよう！ ①（講義） ビブリオバトルについて ②（演習） 5分間でおすすめ本の紹介をしてみよう

（3）子ども読書推進計画の改訂

「大牟田市子ども読書推進計画」の第三次計画を策定し、関係各所に配布しました。

（4）広報啓発事業

①啓発チラシ作製・配布

子ども読書の大切さを啓発するチラシを市内小中特別支援学校の児童・生徒に配布しました。

②子ども読書の日記念イベント2019（指定管理者）

4月23日の読書の日に合わせて、子ども読書の日記念おはなし会や特設コーナーの設置等のイベントを実施しました。

(内容等の詳細は、185ページの「社会教育施設等の状況 図書館」の「3 事業の実施状況」の「(1) 必須事業」の「②行事」の「ア イベント的事業」の表を参照)

③ホームページの記事作成・更新

おはなし会の情報や子どもの読書イベントの情報を毎月更新しました(携帯電話用のページも更新)。

●子ども未来デッサン事業〔地域コミュニティ推進課・公民館〕(69ページ参照)

小学生高学年(4~6年生)が、自分の将来のことを考え、夢や目標を見つけるきっかけをつくるとともに、未来へ向かって頑張る姿勢を身に付けてもらうための一助となることを目指した講座です。

様々な職業人から、子ども達へ現在の職業に就いたきっかけや、夢を実現させるために努力したこと、仕事のやりがいや様子などの話をさせていただきました。

H26年度から29年度までの3年間、生涯学習課で実施していましたが、H30年度から地区公民館事業として実施しています。

職業	講師	とき	ところ	受講者
学芸員・学習指導員	御船町恐竜博物館 富澤 由規子 ダヴィッド・キャプ ール	8月3日(土)	手鎌地区公民館	11人
薬剤師	社会医療法人 親仁会 米の山病院	8月17日(土)	米の山病院	30人
グラフィックデザイナー・イラストレーター	馬場 真帆	9月14日(土)	手鎌地区公民館	20人
和菓子職人	森 史朗	11月23日(土・祝)	手鎌地区公民館	27人
寿司職人	三浦 好生	12月1日(日)	手鎌地区公民館	20人
フラワーデザイナー	(有)グリーンピース磯浜 磯濱 玄海	12月7日(土)	手鎌地区公民館	21人

(視点2) 社会の宝として、地域全体で子どもたちを見守り、育てる

家庭、学校、地域、行政の連携強化を図るとともに、地域の中で大人と子どもが共に活動することを通して、地域の子どもは地域で育てるという意識を醸成します。また、地域で青少年活動に関わる人材を育成するとともに、青少年活動団体への支援や団体間のネットワークの構築を行います。

【主な事業】

○子どもの居場所づくり支援事業（再掲：同編同章・視点1の75・76ページ参照）

●通学合宿支援事業（再掲：同編同章・視点1の76～78ページ参照）

○子ども会活動支援事業（再掲：同編同章・視点1の78ページ参照）

○PTA活動支援事業〔生涯学習課〕

(1) 広報紙コンクール、広報紙研修会の実施

① P T A 広報紙コンクールの実施

第34回P T A 広報紙コンクールを、大牟田市、大牟田市教育委員会、大牟田市立小・中・特別支援学校P T A 連合会の共催により実施しました。作品は、H 3 0 年度発行の新聞を対象としました。

応募校数27校（小学校19校、中学校8校）

表彰 大牟田市長賞：上内小学校父母教師会、田隈中学校父母教師会

大牟田市教育委員賞：中友小学校父母教師会、歴木中学校父母教師会

大牟田市立小・中・特別支援学校P T A 連合会賞：

大牟田中央小学校父母教師会、宅峰中学校父母教師会連合会

優秀賞：みなと小学校父母教師会、白川小学校父母教師会

駛馬小学校父母教師会、甘木中学校父母教師会

② P T A 広報紙研修会の開催

と き 5月21日（火）

と ころ 中友小学校 コンピュータ室

参加者 36人

内 容 広報紙のレイアウトや記事の書き方についての講義と実技

講 師 藤木 菜穂子

(2) P T A 連合会の研修会の委託

県P研修会の対応等による時間的制約で研修会実施の調整がつかず、実施なし。

（視点3）スポーツ・文化芸術活動を通じた青少年の心身の育成

生涯にわたり健康で体力を保持増進していくための基礎を培う機会づくりと、文化芸術に触れる機会の創出・充実を行い、心身ともに健やかでたくましい青少年への成長を支援します。

【主な事業】

○子どもの体力向上事業〔スポーツ推進室〕

（1）親子運動セミナー

子どもにとってスポーツは、生涯にわたって健康や体力を保持・増進するための大切な活動であり、幼少期からスポーツを経験することの重要性を伝え、スポーツの恒常性を図るため、親子で参加でき、子どもが運動・スポーツを好きになる「親子運動セミナー」を実施し、子どもの成長に合わせた運動の必要性の理解のための親を対象としたセミナーや、アビスパ福岡コーチを講師にボールを使用した運動などを行いました。

期日	内容	場所	参加者(人)
6月16日(日)	子どもの体力測定、保護者セミナー	大正小学校	87人(42組)
7月14日(日)	親子で運動遊び	大正小学校	76人(36組)
7月28日(日)	親子で運動遊び	大正小学校	53人(25組)
9月22日(日)	親子で運動遊び	大正小学校	68人(32組)
10月6日(日)	子どもの体力測定	大正小学校	60人(28組)

○スポーツ少年団育成委託事業〔スポーツ推進室〕

スポーツ少年団員の体力・健康の現状を把握しその増進を図るとともに、各少年団相互の親善と友情を深めるための事業（体力テスト、交流ドッジボール大会）を実施し、また、スポーツ少年団の加入促進を図るため、機関紙「おおむたしスポーツ少年団ニュース」を作成し普及促進を図りました。

期日	内容	場所	参加者	
			団体数	人数
12月14日(土)	体力テスト	市民体育館	23	449
R2年2月9日(日)	交流ドッジボール大会	市民体育館	19	393

スポーツ少年団の加入状況

年度	H29年度	H30年度	R元年度
スポーツ少年団数	42	41	39
加入者数	666	646	624

○おおむたっ子がんばれ奨励金事業〔生涯学習課、スポーツ推進室〕

18歳以下の市民が地区予選を経て全国レベルの大会又は国際大会に出場する場合に、青少年の育成、スポーツ・文化の振興、選手・出場者の意欲の向上に寄与するため、青少年健全育成基金を活用し、「おおむたっ子がんばれ奨励金」を交付しました。

区分		H29年度	H30年度	R元年度
スポーツ	全国大会等出場者数	144人	167人	147人
	交付額	432千円	501千円	461千円
文化芸術	全国大会出場者数	48人、1団体	18人、1団体	25人、3団体
	交付額	294千円	154千円	345千円

○子どもの文化芸術体験事業（再掲：同編第7章・視点2の118・119ページ参照）
〔生涯学習課〕

(視点4) 青年の社会参加の促進

青年の社会参加に向けて、知識や技術などを学ぶ機会を提供するとともに、必要な情報や学習の場を提供します。

【主な事業】

○成人式の開催〔生涯学習課〕

(1) 成人の自覚と社会参加の意識の醸成

第72回成人式の開催

と き R2年1月12日(日)

と ころ 文化会館

内 容 式典(司会:公募による新成人男女各1名)

- ・誓いの言葉(公募により新成人男女各1名)
- ・市民憲章唱和(市民憲章推進委員会および公募による新成人男女各1名)
- ・アトラクション(大牟田高等学校吹奏楽部の演奏・マーチング等)
- ・ボランティア協力団体等(大牟田北高等学校、三池高等学校、明光学園高等学校、ガールスカウト)

区 分	該当者数(人)			出席者(人)	出席率(%)
	男性	女性	合計		
H29年度	505	500	1,005	674	67.0
H30年度	514	482	996	660	66.2
R元年度	493	476	969	614	63.4

（視点5）青少年の問題行動や悩みへの対応

街頭指導・相談・環境浄化などの健全育成活動の充実に努め、青少年の非行や犯罪被害を防止します。また、インターネットによるいじめ・依存防止のための適正利用や被害防止の啓発を行うほか、ひきこもりやニートなどの問題に対し、関係機関などと連携強化を図り支援します。

【主な事業】

○青少年指導相談事業〔生涯学習課〕

（1）ヤングテレホン等相談事業

悩みを持つ青少年自身のみならず保護者等からも相談を受け指導助言を行っています。

相談については、「ヤングテレホンおおむた」による電話相談をはじめ、来所による相談も受け付けています。なお、相談内容によっては、専門機関に紹介するケースもありました。

①相談件数 （単位：件）

区 分	年 度	家 族	本 人	そ の 他	合 計
来 所 相 談	H29	0	1	0	1 (1)
	H30	0	1	0	1 (1)
	R 元	2	0	0	2 (2)
電 話 相 談 (ヤングテレホン)	H29	4	9	84	97 (13)
	H30	3	2	106	111 (5)
	R 元	3	3	40	46 (5)
メール相談	H29	0	2	0	2 (2)
	H30	0	5	6	11 (3)
	R 元	0	2	0	2 (1)

※（ ）内は実際に相談された人数

②相談内容内訳 （単位：件）

区分 年度	健康	学業	交友 交際	家庭	性	いじめ	非行	不登校	その他	合 計
H29	0	2 (2)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	0	1 (1)	0	91 (7)	100(16)
H30	1(1)	4 (3)	1 (1)	4 (3)	0	0	0	1(1)	112 (0)	123(9)
R 元	0	0	1(1)	2(1)	0	0	0	4(4)	43(2)	50(8)

※（ ）内は実際に相談された人数

③ヤングテレホンカードの作成・配布

相談事業の周知をはかるため、市内の学校の児童・生徒・学生や関係機関・団体等に相談窓口の電話番号やメールアドレス等を記載した「ヤングテレホンカード」を配布しました。

配 布 先 小学校5・6年生、中学校、高等学校、大牟田特別支援学校、有明工業高等専門学校、帝京大学、関係機関・団体等

配布枚数 約 15,000 枚

寄 贈 者 大牟田ライオンズクラブ、大牟田中央ライオンズクラブ、大牟田デイジーライオンズクラブ

（2）街頭指導活動事業

少年センターの指導員が関係団体と共に「OMUTA少年よくし隊」として、繁華街や公園、コンビニエンスストア、ゲームセンターなど、少年がたむろしそうな場所を定期的

に巡回し、問題行動の早期発見と非行の未然防止に取り組むとともに、青色パトカー（青色回転灯装備車）による昼夜間のパトロールや児童生徒の下校時間帯での見守り活動を実施しました。

①街頭指導活動概況 (延べ数)

年度	区分	実施回数	従事者数
H29		481回	2,505人
H30		472回	2,587人
R元		482回	2,431人

②青色パトカー巡回活動概況 (延べ数)

年度	区分	実施回数	従事者数
H29		464回	882人
H30		442回	860人
R元		453回	839人

③指導概況（性別、学職別） (単位：人)

年度	区分			小学生	中学生	高校生	その他の学生	有職少年	無職少年	不明	合計
	男	女	合計								
H29	180	78	258	51	53	153	1	0	0	0	258
H30	87	76	163	4	13	143	3	0	0	0	163
R元	196	157	353	51	65	235	2	0	0	0	353

④行為別指導実数 (単位：人(上段)・%(下段))

年度	区分	喫煙	夜間外出	夜遊び	深夜徘徊	交通マナー	不良交友	シンナー遊び	怠学	飲酒	その他	合計
		H29	0	79	76	0	64	0	0	0	0	39
		0	30.6	29.5	0	24.8	0	0	0	0	15.1	100
H30		1	47	58	0	43	0	0	0	0	14	163
		0.6	28.8	35.6	0	26.4	0	0	0	0	8.6	100
R元		1	128	78	5	99	0	0	0	0	42	353
		0.3	36.3	22.1	1.4	28.0	0	0	0	0	11.9	100

※夜間外出：20時以前 夜遊び：20時～22時以前 深夜徘徊：22時以降

⑤指導した場所 (単位：人)

年度	区分	センター	ゲームセ	店等	カラオケ	大型店等	ンスストア	コンビニエ	駅	路上	自宅等	寺院・神社	公園	海岸・河川	その他	合計
		H29	男子	0	0	16	0	0	139	0	1	12	0	12	180	258
	女子	3	0	38	0	0	27	0	1	9	0	0	78			
H30	男子	0	0	7	0	0	65	0	1	12	2	0	87	163		
	女子	0	0	37	0	0	23	0	1	15	0	0	76			
R元	男子	0	0	16	0	0	131	0	5	21	6	17	196	353		
	女子	2	0	43	0	0	101	0	0	9	2	0	157			

○関係機関・団体連携事業〔生涯学習課〕

(1) 青少年健全育成啓発事業

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」及び「社会を明るくする運動強調月間」にあたる7月と「子ども・若者育成支援強調月間」の11月を中心に次の行事を行いました。

①第69回‘社会を明るくする運動’街頭キャンペーン

大牟田保護区保護司会等の関係団体とともに行進後、啓発チラシを配布する予定でしたが、雨天のため中止しました。

と き 7月1日(月)

ところ 市庁舎前からゆめタウン大牟田

②第67回青少年健全育成弁論大会

市内の小、中、高校生による弁論大会を開催しました。

と き 7月3日(水)

ところ 文化会館 小ホール

③大牟田市青少年健全育成毛筆書写・標語作品展

小、中学生から募集した毛筆書写229点のほか、標語104点を展示しました。

と き 11月13日(水)～20日(水)

ところ ゆめタウン大牟田 2階 わくわく広場

④非行防止研修会

NPO法人子どもとメディアの講師による「ネット依存症防止のための取組みについて」の講演を行いました。

と き 10月24日(木)

ところ 市生涯学習支援センター

参加者 少年センター指導員・大牟田区更生保護女性会 51人

(2) 若鳩会運営費補助

若鳩会は青少年の健全な保護育成を図ることを目的に、学校教師・警察署員・少年センター職員を構成員として組織されています。その若鳩会の活動に対して、運営補助金を交付しました。

○青少年有害環境浄化事業〔生涯学習課〕

(1) 広報啓発事業

広報啓発のチラシ配布を7月19日(金)にゆめタウン大牟田にて、11月9日(土)にゆめタウン大牟田及びイオンモール大牟田にて、それぞれ行いました。

(2) 店舗立入調査

さまざまなメディアを通じてもたらされる有害情報から青少年を守るため、福岡県青少年健全育成条例に基づき、店舗等の巡回、立入調査、要望・指導など青少年の健全育成上、好ましくない有害社会環境の浄化活動を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R 元	指標・目標値設定の根拠
子どもの育成や見守り活動への参加率	目標値 (%)	19.0	21.0	23.0	25.0	「まちづくり市民アンケート」集計結果より。現状値から10ポイント程度(年2ポイント)の向上を目指します。 [現状値:16.5%(26年度実績)]
	実績値 (%)	15.0	16.0	16.7	14.7	
	達成度 (%)	78.9	76.1	72.6	58.8	

【指標達成度に対する要因分析】

- 子どもの体験活動をはじめとする子どもの参加型事業等については、目標値まで達していない事業が一部あるものの、新規に対象となる事業や箇所が現れるなど、地域を含む組織等のボランティアの理解や協力、見守り等で熱心に取り組んでいただき、多くの事業で前年度より実施数等が伸びており、一定の効果は出ていると考えられます。
- 一方で、活動する組織・団体等では、子どもの減少やニーズの多様化により、継続した取り組みに必要な子どもの参加者数を確保できず、組織・団体等の活動が成り立たなくなり、解散等をせざるを得ない状況も見受けられます。
- 成果指標については、青少年の体験活動等の各事業を通じて、地域等で子どもの育成や見守り活動へ多くの参加がありました。各事業の実施数が計画していた数まで伸びなかったことや組織・団体等での活動の縮小などにより、身近な地域での参加ができなくなっていることなどから、目標値より低くなっています。しかしながら、社会教育・生涯学習基礎調査研究による調査からは、子どもの見守りや活動支援などに関するボランティア活動を希望する人が多く見受けられ、「地域全体で子育て」との機運が認識されているところです。

【今後の方向性】

- 各事業を行うにあたっては、家庭・学校・地域の理解と多くのボランティアの協力が必要となることから、より多くの市民に各事業の取り組みや主旨を理解のうえ、協力いただけるよう事業の内容や必要性について、引き続き周知・啓発を図ります。
- 子どもの減少やニーズの多様化により、組織や団体によっては、子どもの参加者が減少していることから、事業参加者数の確保が課題とされています。今後、統合や新たな組織のあり方を検討して、組織や団体の継続により、子どもたちが心身ともに健康でたくましく思いやりの心やふるさとを愛する心を持った自立した大人へと成長していくことにつながるような支援を検討します。
- 体験活動や子ども向け事業は、子どもたちの身近な場所で提供されるべきものであることから、子どもの育成や見守り活動へより多くの参加を促すため、各事業の周知・啓発や青少年の活動に大人が関わることの必要性を引き続き周知・啓発していきます。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第5章】 生涯学習が盛んで、その成果が活かされるまち
いつでも、どこでも、誰でも、日常生活をはじめ家庭や職場などのあらゆる場面で楽しく学ぶことができ、その学んだ成果を適切に活かすことができるまちを目指します。	

（視点1）学習機会の充実

家庭や学校、地域、企業、団体との連携をさらに深めながら、多様な学習機会の充実を図ることで、市民による自主的な学習活動を促進します。特に、高齢者に向けた学習機会を充実することで、生きがいづくりに取り組みます。

あわせて、多くの市民が生涯を通じて学習に取り組むことができるよう、学習情報の効果的な提供を行います。

【主な事業】

●多様な学習機会提供事業〔生涯学習まちづくり推進本部・生涯学習課〕（70ページ参照）

（1）メニューいろいろまちづくり出前講座

市民とともに「生涯学習まちづくり」を進めるために、市政のことを知りたい、学びたい市民のもとに市の職員が出向き、説明・実習等を行いました。

年度	出前講座のメニュー数	実施回数（派遣回数）	派遣職員数（市職員）	参加者数（市民）
H29	115	165回	320人	5,245人
H30	121	182回	347人	7,588人
R元	113	158回	311人	5,242人

（2）生涯学習ボランティア登録派遣事業

（視点2）「学習成果を活かす仕組みづくり」の生涯学習ボランティア登録派遣事業（93・94ページ参照）

（3）市民大学講座

市民の高度な学習ニーズに応えるために、高等教育機関と連携して専門的な知識・技術等をわかりやすく学ぶことができる講座を開催しました。

講座名	講師	期日	場所	受講者
まずは予防!!ヒートショックもそのひとつ	帝京大学福岡医療技術学部 医療技術学科 准教授 西園 与之	11月6日（水）	えるる	15人
メンタルの問題とストレスとの関係について ～自分らしく生きるためのストレスマネジメント～	帝京大学福岡医療技術学部 看護学科 助教 米元 富貴代	11月13日（水）	えるる	24人
大地震と建物の被害 ～紙振動模型を作成し建物の揺れを観察してみましよう～	有明工業高等専門学校 創造工学科 教授 金田 一男	11月19日（火）	えるる	19人
「ハリー・ポッター」と魔法の言葉 ～英語の原書を（少しだけ）読んでみませんか?～	有明工業高等専門学校 一般教育科（英語） 教授 村田 和穂	11月30日（土）	えるる	22人

(4) 企業出前講座「がんばる地場企業」

“生涯学習社会”の実現を図るため、民間企業より協力を得て、企業が持っている専門的な知識・技能を市民が学習することができる講座を実施しました。

年度	企業名	講座メニュー数	実施回数	受講者延人数
H29	①久留米ヤクルト販売(株)、②(株)野口印刷所、 ③HMS九州、④ジブラルタ生命保険(株)、 ⑤(株)白雲社、⑥(有)グリーンピース磯浜、⑦海づか、 ⑧信号電材(株)	14	21回	485人
H30	①久留米ヤクルト販売(株)、②(株)野口印刷所、 ③HMS九州、④ジブラルタ生命保険(株)、 ⑤(株)白雲社、⑥(有)グリーンピース磯浜、⑦海づか、 ⑧信号電材(株)、⑨(株)マルエ産業、 ⑩ありあけ不動産ネット協同組合、⑪大牟田ガス(株)	27	17回	327人
R元	①久留米ヤクルト販売(株)、②HMS九州、 ③ジブラルタ生命保険(株)、④(株)白雲社、 ⑤(有)グリーンピース磯浜、⑥海づか、⑦信号電材(株)、 ⑧(株)マルエ産業、⑨ありあけ不動産ネット協同組合、 ⑩大牟田ガス(株)、⑪(株)四郎國光、⑫(有)宮脇商会、 ⑬和菓子処吉蔵、⑭(株)プランツ	31	33回	827人

○学習情報提供事業〔生涯学習課〕

市民がいつでも気軽に学習活動が行えるよう、年間を通して情報誌やリーフレット、インターネット、ラジオなどの多様な媒体を活用し、様々な学習情報を提供しました。

- (1) 学習情報誌「まなびのカタログ」の発行（奇数月に年6回発行 2,000部/回）
掲載事案件数77件、メールマガジン登録件数167件
- (2) 生涯学習ボランティア登録者名簿「まなばんかん利用案内」の発行（冊子2,000部）
- (3) 企業出前講座「がんばる地場企業」のメニュー表の発行（リーフレット1,000部）
- (4) メニューいろいろまちづくり出前講座メニュー表の発行（冊子1,000部）
- (5) 「広報おおむた」による学習情報及び生涯学習の啓発（全3回）
- (6) その他（年間随時）
 - ・市ホームページ、SNS、愛情ねっと、ジャー坊公式LINE、FMたんと、YouTubeを活用した動画配信等による情報発信
 - ・学習相談業務（必要な学習情報の提供、学習会・研修会・講習会等のコーディネート）

○地域学習機会提供事業〔地域コミュニティ推進課・公民館〕

- (1) 子ども体験活動事業〔公民館〕
地区公民館において、食や環境等をテーマに、ものづくりや自然体験、公民館での宿泊体験など子どもたちの体験活動講座を10講座開催しました。また、駛馬小学校PTA主催の夏休みふれあい合宿の支援を行いました。
（各講座の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）
- (2) 家庭教育講座〔公民館〕
家庭教育に関する学習機会の充実を図るため、幼児、小学校低学年・高学年、思春期などに区分し、「家庭教育講座」を5講座開催しました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1講座を中止しました。
（各講座の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）
- (3) 就学前子育て講座〔生涯学習課・公民館〕
小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象に、入学説明会の機会を活用して家庭教育の

あり方やしつけについての子育て講座を地区公民館と連携して実施しました。

19講座（19小学校区） 参加者数729人（入学予定者数の83.2%）

（4）一般成人講座〔公民館〕

高齢化・少子化・国際化等社会の変化といった現代的課題・地域課題や市民の多様な学習ニーズに対応し、あらゆる層の市民が参加できる学習機会を提供するため、6地区公民館において9講座を開催しました。

（各講座の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（5）政治学級〔公民館〕

地域住民の身の回りの問題がいかに深く「まちの政治」とかかわりあいをもち、それに包含されているかを認識し、政治に対する正しい理解を深めるためにまちの政治について学習し話し合いを行う「まちの政治を見つめよう学級（指導学級）」を10月から11月にかけて、吉野地区公民館で全6回開催し、20人が受講しました。なお、第2回目を公開講座とし、受講生のほか52人の参加がありました。（設置主体：選挙管理委員会、明るい選挙推進協議会）

（6）高齢者生きがいづくり社会参加促進事業（シニアデビュー塾・マナビ塾・健康アップ塾）

〔福祉課・地域コミュニティ推進課・公民館〕

高齢者が新たなことを学ぶ、また教えることで学びを深める「シニアデビュー塾」を4講座開催し、58人が受講、学んだ成果を生かして一般成人に教える「マナビ塾」を4講座開催し、61人が受講、心と体の健康づくりを学び介護予防につなげる「健康アップ塾」3講座を開催し、53人が受講しました。

（各講座の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（7）公民館だより等の発行〔公民館〕

地域の人が集まりやすい地区公民館づくりを目指して、地域や地区公民館の情報を掲載した地区公民館だよりを発行しました。

（各館の発行の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（8）読書推進事業〔公民館〕

新刊コーナー、レイアウト変更、図書広報の工夫等を行い、図書貸出の合計は37,031冊でした。また、地域拠点化の推進及び子どもの読書活動の活性化を図るため、図書だよりの発行やおはなし会を行いました。

（各事業の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（9）子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕

施策「安心して子どもを産み、育てることができるまち」の（視点1）「地域における多様な子育て支援」の家庭教育支援事業の（2）（73・74ページ）を参照。

（10）地区公民館文化祭〔公民館〕

7地区公民館で活動しているサークル会員の学習成果の発表と、地域の小・中学校、幼稚園・保育園及び地域住民の参加・協力により、交流と連携を深めました。なお、3月に実施を予定していた吉野地区公民館「花と緑の文化祭」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期しました。

（7地区公民館の文化祭の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（11）展示コーナー活用事業〔公民館〕

地区公民館の展示コーナーやロビーを活用し、サークル会員や地域の人たちの作品展を開催し、成果発表の場とするとともに、サークル会員や地域住民の交流の場としての利用促進を図りました。

(展示コーナー活用事業詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

○社会教育・生涯学習基礎調査研究〔地域コミュニティ推進課・生涯学習課〕

H30年度から2か年にわたり実施し、市民意識調査等の結果を分析し、調査結果から見えてきた今後取り組むべき課題や社会教育・生涯学習の施策の在り方等について有識者からの助言をふまえ、報告書をまとめました。

今後、将来のまちづくりの担い手となる子どもたちを地域や社会全体で育てることや、ESDの理念を社会教育にも取り入れて、人づくり、つながりづくり、地域づくりを進めることなどを柱に事業を推進していくこととしています。

（視点2）学習成果を活かす仕組みづくり

学んだ成果を活かすことで、人は満足感を得ることができ、さらなる学びの意欲につながります。そのため、市民が学んだ成果を活かすことができる場や機会のさらなる充実を図ります。

【主な事業】

●生涯学習ボランティア登録派遣事業〔生涯学習まちづくり推進本部・生涯学習課〕

（71ページ参照）

（1）生涯学習ボランティア登録派遣事業

市民の学習を支援するボランティアを登録し、市民からの求めに応じてコーディネートを行い派遣する「生涯学習ボランティア登録派遣事業」を実施しました。

①ボランティア登録・派遣状況

年度	区分	延べ登録件数 (件)	延べ登録者数 (人)	派遣回数 (回)	派遣先の 参加者数 (延人数)	ボランティアの 稼働率(%)
H29	個人	86	86	265	7,698	77.4
	団体	113	1,395	557	48,307	
	計	199	1,481	822	56,005	
H30	個人	83	83	262	8,808	75.6
	団体	118	1,415	667	47,743	
	計	201	1,498	929	56,551	
R元	個人	94	94	237	7,829	68.5
	団体	119	1,475	639	49,505	
	計	213	1,569	876	57,334	

②アンケート結果

○ボランティア登録者の意欲の高まり

（学習の成果を人づくりやまちづくりに役立てたい）・・・100%

（H30年度98.9%）

○依頼者（利用者）の満足度（今後もこの制度を活用したい）・・・100%

（H30年度99.8%）

③説明会

事業内容の周知及び利用促進を図ることを目的に、依頼者とボランティア登録者向けの説明会などを行いました。

ア 依頼者（利用者）向けの説明会

とき 5月30日（木）

ところ 生涯学習支援センター

参加者 23人

内容 事業概要、手続き方法、諸注意等の説明／ボランティア登録者の活動内容の紹介

イ ボランティア登録者向けの説明会・交流会

とき 6月29日（土）

ところ えるる

参加者 43人

内容 事業概要の説明、ボランティア登録者の活動内容の紹介／意見・情報交換会

④「まなばんかんPRプロジェクト」

道の駅「おおむた」花ぷらす館と連携したイベントを通じて、学んだこと、得意なことを活かす「生涯学習ボランティア登録派遣事業」（愛称：まなばんかん）を広くPRし、事業の利用促進と生涯学習ボランティアの活動機会の創出を図りました。

イベント名	日時	内容	登録者 派遣人数	参加者数
花ぷらす館フェア (株グッドスタッフ主催)	8月7日(水)	ステージ発表	5組(33人)	100人
		体験コーナー	1組(6人)	30人
花ぷらす館 「秋の収穫感謝祭」 (株グッドスタッフ主催)	11月24日(日)	ワークショップ	3組(7人)	15人
		おはなし会	1組(8人)	5人

※場所は全て道の駅「おおむた」花ぷらす館

⑤周知・PR

- ア ボランティア登録者の募集（「広報おおむた」2月1日・15日合併号掲載）
- イ 「まなばんかん利用案内」（登録者名簿冊子2,000部）の配布
- ウ 地域の会議等での説明（7回／延参加者154人）
- エ 市ホームページ、You Tube 市公式アカウント「ほっとシティおおむたチャンネル」、まなびのカタログ等で活動の様子を紹介
- オ Facebook 等SNSへの投稿
- カ 窓口広告モニター放映（市民課・保険年金課窓口計4台、12月放映）
- キ FMたんと出演（3月24日（火））

○学習成果活用事業〔地域コミュニティ推進課ほか〕

(1) 高齢者生きがいづくり社会参加促進事業（ボランティア塾）

〔福祉課・地域コミュニティ推進課・公民館〕

高齢者の学習機会および学習成果を生かした活動機会や、心と身体の健康づくりの機会を提供することで、高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進を図るとともに、介護予防の取組みを促進するために福祉課および地域包括支援センターと連携し、「生涯青春まなびの扉」を実施しました。この事業の一つとして高齢者のボランティアを養成する「ボランティア塾」4講座を開催し、65人が受講しました。

（各講座の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

(2) カヌーサポーター養成講座〔地域コミュニティ推進課〕

諏訪川を活用した環境問題の啓発、青少年の自然体験活動の充実、家族のふれ合いや世代間交流の促進を図る目的で実施しているカヌーふれあい事業の趣旨に賛同し、カヌーを使用した地域活動やカヌー貸出においても支援・協力してもらえるサポーターを養成する講座を毎年実施していましたが、令和元年度はカヌー倉庫の建替えに伴い中止しました。

(3) ボランティア団体支援事業〔公民館〕

7地区公民館等の各種事業で育成された既存のボランティア団体等を支援する事業として「視聴覚ボランティア支援事業」、「子育てふれあい広場」を運営するボランティア団体等への支援を行いました。

（各事業の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

(4) 地区公民館サークル社会参加促進事業〔公民館〕

各地区公民館サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と地域還元を図るこ

とを目指して実施しました。また、子どもサークル体験や駛馬北小学校のクラブ活動の支援、帝京大学の高齢者看護実習の一環としてのサークル体験活動など、次世代育成の支援も行いました。

(各事業の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

（視点3）地域での学習活動の支援

地域において、学んだ成果を活かして活動に取り組む人の養成及び支援を図るため、地域の拠点としての地区公民館の事業を充実します。身近な地域における学習活動の拠点としての機能を高めながら、社会教育関係団体をはじめ、学校や地域との連携を強化し、学習する場や機会を広げる取組みを行います。

【主な事業】

○地区公民館地域コミュニティ拠点化推進事業〔地域コミュニティ推進課・公民館〕

（1）地域力アップ支援事業〔地域コミュニティ推進課・公民館〕

多くの市民が主体的・自発的に様々な取組みを進められるように地域の人材育成と発掘に重点を置き、住民が自らの知識や経験を活かし、地域課題の解決に携わっていくきっかけとなる学習機会の提供や学習活動の支援を行いました。

（事業の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（2）地域行事支援事業〔公民館〕

地域住民の連帯意識を醸成するような地域団体の自主的・主体的な祭りなどの行事を支援しました。

（事業の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（3）地域包括支援センター連携事業〔福祉課・公民館〕

大牟田市高齢者社会参加促進事業「生涯青春まなびの扉」において連携して講座を開催しているほか、地域包括支援センターが地区公民館文化祭の演目で健康体操の紹介や無料健康チェックのブースを設けました。

（事業の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（4）校区まちづくり協議会等への支援〔公民館〕

地区公民館から校区まちづくり協議会等へ事業等の情報を提供するとともに、様々な相談に応じ、運営面での助言や活動企画の支援等を行いました。

（5）その他の団体への支援〔公民館〕

社会教育関係団体から申請があった10事業について、共催又は後援し、広報おおむたに記事を掲載するなど、活動の支援を行いました。なお、このうち2件が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

○地区公民館整備事業〔地域コミュニティ推進課・公民館〕

（1）各地区公民館の維持補修〔公民館〕

7地区公民館のうち6館は既に建築から20年以上経過し老朽化も進んでいますが、来館者が安心・安全に施設を利用できるように、必要に応じた施設修繕を行いました。

その他

社会教育委員の会議を設置し、社会教育に関し市民の意見を反映させるため、社会教育に関する諸計画の立案等について助言し、諮問に応じ意見を述べることを主な目的として会議を開催しています。

【主な事業】

○社会教育委員の会議〔地域コミュニティ推進課〕

(1) 会議の開催

①第1回 とき：7月24日（水） ところ：生涯学習支援センター

委員の委嘱

社会教育委員の会議について

福岡県社会教育委員連絡協議会評議員について

市町村社会教育委員新任者研修会について

議題 1 平成30年度社会教育委員の会議等実績報告及び令和元年度事業計画（案）について

2 令和元年度社会教育・生涯学習事業計画について

3 社会教育・生涯学習基礎調査研究について

報告 大牟田市子ども読書推進計画の改定について

②第2回 とき：10月29日（火） ところ：生涯学習支援センター

議題 1 令和元年度南筑後地区社会教育委員交流会について（報告）

2 大牟田市文化芸術振興プランの改定について（協議）

3 令和元年度大牟田市社会教育・生涯学習基礎調査研究（報告）

協議 テーマ「次世代を担う子どもをはぐくむための学校、家庭、地域の役割は」

③第3回 とき：12月4日（水） ところ：生涯学習支援センター

議題 1 「元年度福岡県社会教育研究大会について」（報告）

2 「令和元年度筑後地区市町村社会教育委員研修会について」（報告）

3 「大牟田市子ども読書推進計画の改定について」（協議）

その他 「成人式のご案内」

④第4回 とき：R2年2月12日（水） ところ：生涯学習支援センター

議題 1 「第49回九州ブロック社会教育研究大会佐賀大会について」（報告）

2 「令和元年度社会教育・生涯学習事業について」（報告）

3 「大牟田市社会教育振興プラン2020～2023について」（協議）

4 「社会教育委員の会議を振り返って」（協議）

(2) 委員の研修

①市町村社会教育委員新任者研修会

とき 7月2日（火）

ところ 福岡県立社会教育総合センター

内容

講演 「社会教育委員の基本的役割と目的」

～人生100年時代の人づくり・つながりづくり・地域づくりを目指して～

講話 「福岡県社会教育委員の会議の活動」

～提言（持続可能な地域づくりを推進するための社会教育行政の在り方）
を中心として～

実践発表 「人と地域をつなぐ社会教育委員としての実践活動」

グループ協議 「社会教育委員としての今後の方向性について考える」

②南筑後地区社会教育委員交流会

と き 9月12日(木)

ところ 南筑後教育事務所

内 容

講義・演習 「誰もが安心して高齢者になれる社会」

協議 「人口減少、少子高齢化が進んでいる今、地域を元気にするために
社会教育委員として自分にできること」

③福岡県社会教育研究大会

と き 11月1日(金)

ところ 福岡県立社会教育総合センター

研究主題 持続可能な地域づくりに向けた、社会教育の創造
～人と人、人と学び、学びと学びをつなぐ活動を通して～

実践報告 「社会教育委員が持つ可能性と実践例」

～生涯学習講座「郷育カレッジ」で「ひと・もの・こと」をつなぐ～

実践発表① 「学校と地域の連携」～学びで創る 市民の力～

実践発表② 「人と人をつなぐ中学校子育てサロン」

講演 「誰もが生涯活躍できる豊かなまちづくりに向けて」

④筑後地区市町村社会教育委員研修会

と き 11月13日(水)

ところ 筑前町コスモスプラザ

テーマ 「社会教育委員としての活動」

人権・同和教育講話 「一人を大切に作る地域づくり」

基調講演 『人生100年時代の社会教育委員の活動』

実践発表 『筑前町子どもの約束答申から大刀洗平和祈念館中学生ボランティアガイド事業へ』

⑤九州ブロック社会教育研究大会佐賀大会

と き 令和2年1月14日(火)

ところ 佐賀市文化会館

テーマ 「社会教育法制定70周年…。そして地域のこれから…」

※8月29日(木)30日(金)に開催予定であったが、豪雨の影響により延期となり
内容を変更して開催されたもの。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R 元	指標・目標値設定の根拠
1年間に、何らかの学習活動を行った市民の割合	目標値 (%)	50.0	53.0	56.0	60.0	「まちづくり市民アンケート」集計結果より。内閣府の調査結果（H24年度 57.1%）を基に目標値を設定 〔現状値 :43.8% (26年度実績)〕
	実績値 (%)	44.4	46.2	47.9	50.7	
	達成度 (%)	88.8	87.2	85.5	84.5	
学んだ成果を活かすことができたと回答した市民の割合	目標値 (%)	—	—	80.0	85.0	大牟田市社会教育・生涯学習まちづくり基礎調査結果を基に目標値を設定 〔現状値 :74.2% (H23年度)〕
	実績値 (%)	—	—	71.2	70.9	
	達成度 (%)	—	—	89.0	83.4	

【指標達成度に対する要因分析】

- 生涯学習ボランティア登録派遣事業については、事業の利活用とボランティア活動の機会をさらに広げるため、道の駅「おおむた」花ぷらす館と連携したイベントを実施しました。また、地域の会議等で事業の周知を図るとともに、SNSへの投稿や学習情報誌「まなびのカタログ」等で活動の様子を紹介するなど、情報発信を充実させました。その結果、ボランティア登録者の活動機会の創出につながり、「学んだ成果を活かす」という指標の目標達成に向けて貢献したと考えられます。
- 企業出前講座については、企業の参画や講座のメニュー数を拡充し、新たな分野の学習機会を提供することができました。また、メニューいろいろまちづくり出前講座では、様々な媒体で学習情報を提供したことで、市民の学習機会の充実に貢献しており、「学習活動を行った」という指標の実績値向上に寄与したと考えられます。
- 地域学習機会提供事業、人材育成・地域活動促進事業などを実施し、地域課題の把握や解決に向けた取組みを行ったことで、市民の幅広い学習機会の提供を行うとともに、学習活動の必要や地域づくりに対する意識の醸成が図られました。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、年度終盤に行われる予定だった学習活動や事業が中止せざるを得なかったこともあり、最終的に目標値に到達することはできませんでしたが、これらの様々な取組みを通して市民へ幅広く学習活動の場や機会を提供することができ、学習活動を行った市民の割合は徐々に向上しており、約7割が学んだ成果を活かすことにつながられています。

【今後の方向性】

- 企業出前講座の充実、生涯学習ボランティアの派遣などを通して、学習機会を提供し、本市における生涯学習によるまちづくりを推進することができました。今後もこれらの活動を継続する一方で、いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができるよう、インターネットを活用した市役所職員出前講座の動画配信（eラーニング）に取り組み、学習機会の提供を進めます。
- 地域での学習活動の支援については、地域課題の解決に向けた学習の機会を地区公民館はもとより市民により身近な場所で提供します。また、学校や地域など関係機関との連絡調整を密にしながら、課題やニーズを的確に捉え、事業の組立や運営に反映させます。特に、今まで事業を実施してこなかった高校生向けの事業を推進していきます。
- R元年度に取りまとめた「大牟田市社会教育・生涯学習基礎調査研究報告書」を踏まえて、「大牟田市社会教育振興プラン2020～2023」を策定しました。本プランに基づき、

人口減少の中にあっても「持続可能な社会の構築」を支える人づくりに取り組むとともに、誰もが生涯にわたり必要な学習を行い、その成果を個人の生活や地域での活動に活かすことができる生涯学習社会の実現を目指します。

施策名	<p>【まちづくり総合プラン第1編第6章】 スポーツを通して生きがい満ち、活気にあふれるまち</p>
<p>誰もが、ライフステージに応じてスポーツに親しみ、楽しむことで、生涯にわたり心身ともに健康で、活気にあふれた生きがいある生活を営むことができるまちを目指します。</p> <p>そのために、いつでも、どこでも、誰でも気軽に生涯にわたりスポーツに親しみ、楽しむことができるための機会づくりや支援の仕組みづくり、また、スポーツがしやすい環境づくりを推進します。</p>	

（視点1）気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり

市民の誰もが生涯にわたり、それぞれのライフスタイルや心身の状況に応じて運動やスポーツに親しみ、健康で明るい生活を送ることができるよう、多様なスポーツ活動の機会をつくり出します。

【主な事業・取組】

○市民スポーツ推進事業〔スポーツ推進室〕

（1）市民スポーツ教室、市民スポーツ大会等の開催

①市民スポーツ教室（指定管理者）

スポーツ初心者を対象に、スポーツ活動への参加の機会をつくり、健康・体力の維持増進を図り、社会的交流を深めることを目的に、春・秋・新春の年3期に実施しました。

教室名	会場	指導者	参加者(人)
春のスポーツ教室（10回）			
ニコニコエアロ体操教室	市民体育館 アリーナ	坂井 加陽子	71
ソフトバレーボール教室	〃 〃	バレーボール協会	31
にこにこ体操教室	〃 剣道室	(株)M&M	18
卓球教室	〃 アリーナ	卓球協会	18
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	78
秋のスポーツ教室（10回）			
健康体操教室	市民体育館 アリーナ	内田 京子	68
ソフトテニス教室	〃 〃	ソフトテニス連盟	7
親子リズム体操教室	〃 柔道室	ちゃいるどくらぶ	9(組)
バドミントン教室	〃 アリーナ	バドミントン協会	23
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	64
新春スポーツ教室（10回）			
3B体操教室	市民体育館 剣道室	3B体操協会	40
テニス教室	〃 アリーナ	テニス協会	32
太極拳教室	〃 〃	太極拳協会	16
にこにこ体操教室	〃 剣道室	(株)M&M	16
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	66

②サマースポーツ教室（指定管理者）

小学3～6年生の少年・少女を対象に、スポーツ活動に親しむことを目的とし、夏休み期間中にスポーツ教室を実施しました。（1人1種目）。

教室名	会場	指導者	参加者(人)
ミニバスケットボール	市民体育館アリーナ	バスケットボール協会	93
バドミントン	〃 〃	バドミントン協会	49
ソフトバレーボール	〃 〃	バレーボール協会	46
卓球	〃 〃	卓球協会	46
ソフトテニス	〃 〃	ソフトテニス連盟	36
ソフトボール	緑地運動公園ソフトボール場	ソフトボール協会	46
軟式野球	延命球場	軟式野球連盟大牟田支部	32

③市民スポーツ大会（指定管理者、スポーツ都市宣言推進協議会共催）

市民の誰もが気軽に参加でき、みんなで楽しめるスポーツの大会を実施しました。

大会名	期日	会場	参加者(人)
市民グラウンドゴルフ大会	4月21日(日)	諏訪公園イベント広場	111
市民ソフトバレーボール大会	6月9日(日)	市民体育館	120
市民女子フットベースボール大会	9月8日(日)	緑地運動公園運動広場	162
市民健康マラソン大会	R2年1月19日(日)	御大典記念グラウンド	2,155
市民観梅ハイキング	R2年3月1日(日)	観光プラザ前～紹運寺	20

(2) スポーツ市民の祭典（委託先：スポーツ都市宣言推進協議会）

スポーツ都市宣言の啓発・普及を図るとともに、広く市民が集い、子供から高齢者まで誰もが参加でき、楽しめるスポーツ・レクリエーション行事を実施することにより、市民の健康増進及び相互の連帯と融和を図り、スポーツの普及・発展、さらには、健康的で明るい市民生活の確立に寄与することを目的として開催しました。

とき 10月13日(日)・14日(月・祝)

ところ 御大典記念グラウンド、市民体育館、諏訪公園イベント広場・多目的広場

主管 スポーツ2019市民の祭典実行委員会

期日	内容	参加者(人)
10月13日(日)	ア 開会式	5,000
	イ むかで競争、長靴とばし、少年団対抗リレー、小・中学生リレー	803
	ウ なわとび競争	731
	エ 少年団対抗競技・ニュースポーツ	357
	オ バザー・イベント	多数
10月14日(月・祝)	ア ソフトバレーボール大会	81
	イ グラウンドゴルフ大会	90
	ウ ミニサッカー大会	230

(3) チャレンジデーの支援

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に全国一斉に行われ、人口規模がほぼ同じ自治体間で、15分以上継続して身体活動（運動）を行った住民の参加率を競うもので、住民の運動・スポーツに対する意識高揚や住民の連帯意識の醸成等を目的に、スポーツ都市宣言推進協議会、大牟田市体育協会を中心に市民団体、行政等で実行委員会を組織し実施しました。

本市は12年連続で金メダルを授与されました。(メダルは人口規模のカテゴリーごとに定められており、本市の場合47%以上の参加率で金メダル授与となります)

年 度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
期 日	5 月 31 日 (水)	5 月 30 日 (水)	5 月 29 日 (水)
参加者数	83,695 人	82,882 人	80,478 人
参 加 率	71.1%	71.2%	69.8%
対戦相手自治体	秋田県由利本荘市 81.0%	秋田県大館市 63.5%	神奈川県座間市 53.4%

○地域スポーツ活動推進事業〔スポーツ推進室〕

- (1) 地域元気アップスポーツ事業の実施（委託先：大牟田市スポーツ推進委員協議会）
市民がより身近にスポーツに親しめるきっかけづくりとして、体験教室などを開催しました。

①地域ふれあい元気ウォーキング・体力測定(全2回)

期日	集合場所	コース	参加者(人)
11月24日(日)	玉川小学校	(当初の予定) 玉川小学校～焼石山～萩の尾古墳～岩本眼鏡橋～玉川小学校 ※雨天のためニュースポーツ体験教室を実施	3
R2年2月16日(日)	銀水小学校	(当初の予定) 銀水小学校～白銀川調節池公園～三池街道～銀水小学校 ※雨天のためニュースポーツ体験教室を実施	12

②スロージョギング教室

期日	場所	内容	参加者(人)
11月10日(日)	大正小学校体育館及び運動場	① スロージョギングの講義及び実技	22
12月15日(日)	大正小学校運動場	② スロージョギングの実技	24

③ニュースポーツ体験教室

期日	場所	内容	参加者(人)
R2年3月4日(水)	第二市民体育館	(当初の予定) ニュースポーツの周知啓発のため、4種目(ふうせんバレーボール、カラーリング、ペタンク、ごもくお手玉)の体験教室を実施 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—

- (2) スポーツ推進委員等指導者の育成・支援

①スポーツ推進委員の育成

スポーツ推進委員は、住民のスポーツ振興のために住民の求めに応じた実技指導やスポーツ活動促進の組織育成、教育機関及び行政機関のスポーツ行事・事業への協力、住民に対してのスポーツの普及並びに指導助言等を行います。

本市では53人(H30～31年度定数：57人)のスポーツ推進委員を委嘱しており、資質向上を図るために各種研修会を実施しました。

ア 大牟田市スポーツ推進委員研修会

大牟田市スポーツ推進委員協議会では、スポーツ推進委員相互の資質向上を図ることを目的に研修会等を実施しました。

期日	場所	研修内容	参加者（人）
7月7日（日）	生涯学習支援センター、第二市民体育館	講義：熱中症対策セミナー、睡眠セミナー 実技：小学校体力テストの測定方法	34

イ スポーツ推進委員の研修会等派遣事業

国・福岡県が主催する研修会等へスポーツ推進委員を派遣しました。

期日	研修名称	開催地
6月8日（土）	南筑後地区春季スポーツ推進委員研修会	広川町
12月7日（土）	南筑後地区秋季スポーツ推進委員研修会	広川町
12月8日（日）	福岡県スポーツ推進委員研修大会	福岡市

(3) スポーツ推進委員による地域スポーツ活動支援

スポーツ活動を通じて仲間づくりや多世代間の交流の活性化を図り、コミュニティの形成を目的に、スポーツ推進委員による地域スポーツ活動への連携（企画、指導・助言、運営）を図りました。

地域行事数	参加者（人）	内容			
		企画	指導・助言	運営	その他
78	延べ 14,131	63	57	63	6

※スポーツ行事・活動に限定したもののみ掲載しています。

【視点2】スポーツ活動を支える仕組みづくり

市民が主体的かつ計画的に多様なスポーツ活動に取り組むことによって、豊かなスポーツライフを形成し、定着していくことができるよう、活動支援のための仕組みをつくります。

また、スポーツ都市宣言推進協議会や体育協会をはじめとする各種団体と連携し、各種スポーツ大会の奨励、トップレベルの競技大会の誘致など、スポーツ事業の充実・発展に努めます。

【主な事業・取組】

○地域スポーツクラブ育成・支援事業〔スポーツ推進室〕

総合型地域スポーツクラブとは、地域の特徴を生かし、地域のアイディアにより自主的に運営され、スポーツなどを通して地域の人と人との豊かなつながりを形成するものであり、その活動を支援しました。設置団体：1団体(H17年度～ 右京ふれあい健康クラブ)

また、新たな総合型地域スポーツクラブの創設に向け、関係者との意見交換を行うなど意欲ある校区・地域等の発掘に努めましたが、クラブ設立等に意欲のある校区・地域等の発掘までは至っておりません。

(右京ふれあい健康クラブ活動実績)

期日	内容	場所	参加者(人)
毎週火曜日	右京ふれあいタイム(卓球、バドミントン)	宅峰中学校、天領小学校	延べ654
6月20日～8月1日の毎週木曜日(全7回)	パソコン教室	天領小学校	15
10月20日(日)	天領校区・右京ふれあい体育祭	天領小学校	400
11月15日～12月20日の毎週金曜日(全6回)	パソコン教室	天領小学校	10
11月	バドミントン教室(中止)	—	—
R2年3月29日(日)	右京宝さがしウォーキング(中止)	—	—
【クラブ活動】	バドミントン部 (毎週火・土曜日、天領小学校) 大牟田 Jr バレー (毎週水曜日、天領小学校) ヨガ教室 (毎週土曜日、天領小学校) 卓球部 (毎週土曜日、三川地区公民館) ソフトテニス部 (毎週土曜日、緑地運動公園)		

○スポーツ団体等との連携によるスポーツ活動支援事業〔スポーツ推進室〕

(1) 体育協会や競技団体等とのスポーツの普及及び競技力向上に関する連携・支援

①スポーツ都市宣言推進協議会との連携

本市では、H2年7月、スポーツを通じた「人づくり」、「まちづくり」を目指す決意を込めて「スポーツ都市宣言」を行いました。その周知並びに実践活動を推進するため、スポーツ関係団体、学校、地域団体、企業、医療、福祉、行政など市内の各種団体により組織された「スポーツ都市宣言推進協議会」と連携し、スポーツを通じた住みよいまちづくりに努めています。

②市民体育大会委託事業(委託先：大牟田市体育協会)

市民の競技スポーツにおける競技水準の向上と、競技団体相互の連帯と融和を図るために、大牟田市OPENテニストーナメントなど20大会を開催しました。

大会名	期 日	会 場	参加者(人)
太極拳合同発表会	4月21日(日)	まいピア高田	180
大牟田 OPEN テニストーナメント	4月21日(日)～R2年1月19日(日)	緑地運動公園他	645
大牟田市ゴルフ協会会長杯市民ゴルフ大会	6月2日(日)	有明カントリークラブ	92
大牟田市民軟式野球大会	6月2日(日)～10月13日(日)	延命球場他	250
おおむた弓道選手権大会	7月15日(月・祝)	宅峰中弓道場	30
大牟田市民バドミントン大会	8月18日(日)	市民体育館	138
大牟田市長杯ソフトテニス大会	9月1日(日)	緑地運動公園他	248
大牟田サッカー選手権大会	9月7日(土)～9月8日(日)	三井化学早鐘グラウンド	140
大牟田クレー射撃大会	9月29日(日)	玉名クレー射撃場	12
大牟田市剣道選手権大会	10月6日(日)	市民体育館	300
大牟田市9人制一般男女バレーボール選手権大会	10月13日(日)	市民体育館	100
大牟田市グラウンドゴルフ選手権大会	10月14日(月・祝)	緑地運動公園	70
大牟田市ソフトボール選手権大会	10月20日(日)～12月8日(日)	緑地運動公園他	600
大牟田市長杯争奪大牟田市ボウリング選手権大会	11月24日(日)	大牟田 J ボウル	30
大牟田駅伝競走大会	R2年1月12日(日)	諏訪公園周辺	405
大牟田市民卓球大会	R2年2月16日(日)	市民体育館	128
四地区対抗柔道大会(※)	R2年3月8日(日)	大牟田高等学校	—
大牟田市民体育大会バスケットボール総合選手権大会(※)	R2年3月8日(日)～20日(金・祝)	市民体育館	—
大牟田市民体育大会ゲートボール選手権大会(※)	R2年3月11日(水)	緑地運動公園	—
おおむた市長杯アーチェリー大会	R2年3月29日(日)	サンアビリティーズおおむた	10

(※)新型コロナウイルスの影響により中止

(2) 中学校運動部活動支援

中学生の体育活動の発展と技術向上を図るため、大牟田市中学校体育連盟に対し、運営及び大会出場に係る費用の一部負担を行いました。

内容	対象者数	負担金額(円)
運営負担金	—	350,000
九州・全国大会出場負担金	4	49,730
地区・県大会出場負担金	630	663,275
地区・県新人大会出場負担金	277	262,190

○競技スポーツ振興・支援事業〔スポーツ推進室〕

(1) 全国大会、プロスポーツ大会、広域スポーツ大会等各種大会の支援

① トップレベルの大会の開催支援、選手との交流の促進

九州一円の各郡市の代表選手が一堂に会し、九州地区の競技力の向上並びに親睦と融和を図る目的で開催された第72回全九州都市対抗陸上競技大会を支援しました。

と き 4月7日(日)

と ころ 御大典記念グラウンド

主 催 九州陸上競技協会、NPO法人大牟田市体育協会

共 催 大牟田市

主 管 福岡陸上競技協会、大牟田市陸上競技協会

後 援 朝日新聞社

参 加	男子 25 郡市 女子 25 郡市 参加者 840 人
種 目	[男子の部] 100m、200m、400m、800m、1,500m、5,000m、110mH、 4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投、槍投、 三段跳、棒高跳 [女子の部] 100m、200m、400m、800m、1,500m、3,000m、100mH、 4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投、槍投 [オープン] [中学生男子] 100m、4×100mリレー [中学生女子] 100m、4×100mリレー [男子] 3,000m (中学生以上)、3,000m障害 (高校生以上) [女子] 1,500m (中学生以上)

区 分	優 勝	2 位	3 位	4 位	5 位
総 合	福 岡 市	大 分 市	佐 賀 市	小 郡 市	久 留 米 市
男 子	福 岡 市	大 分 市	小 郡 市	久 留 米 市	佐 賀 市
女 子	福 岡 市	大 分 市	大 牟 田 市	佐 賀 市	小 郡 市

②広域スポーツ大会奨励補助

競技スポーツの振興に寄与し、本市の活性化に貢献するものとして開催される広域スポーツ大会を奨励するために、その大会の費用の一部を補助しました。

大 会 名	期 日	会 場	参加者(人)
大牟田市近県中学生バレーボール選手権大会	5月3日(金・祝)	市民体育館他	1,000
大牟田陸上競技大会	5月4日(土・祝)	御大典記念グラウンド	1,400
大牟田市会長杯近県ソフトテニス選手権大会	5月12日(日)	緑地運動公園他	136
有明杯アーチェリー大会	5月19日(日)	第二グラウンド	29
有明海沿岸ジュニアサッカー大会	8月3日(土)、4日(日)	諏訪公園他	720
大蛇山卓球大会	8月25日(日)	市民体育館	240
大牟田市近県親善ゲートボール大会 (※1)	9月22日(日)	緑地運動公園	—
全九州一般男子ソフトボール大会	10月12日(土)、13日(日)	緑地運動公園他	700
有明少年野球大会	10月22(火・祝)～11月2日(土)	延命球場他	1,200
大牟田小学生オープンバドミントン大会	12月21日(土)	市民体育館	200
優勝弓争奪近県弓道大会 (※2)	R2年3月15日(日)	市民体育館	—

(※1)台風接近のため中止 (※2)新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③各種スポーツ事業への共催・後援による支援

スポーツの普及・向上に寄与する公共性の高いスポーツ事業等に対して、共催・後援等による支援を行いました。 共催 1件 後援 44件

(2) 県民体育大会への選手団派遣

福岡県民体育大会は、夏季大会、秋季大会、市町村対抗駅伝大会の3大会が開催され、本市代表として出場する選手団を派遣しました。

R元年度の秋季大会は、筑豊地区で開催され、総合順位は7位でした。

①夏季大会（水泳） 開催日 8月18日（日）

競技名	開催地	派遣人数	主な結果（入賞等）
水泳	筑豊緑地 プール	44	1位（小5・6女子 50m自由型）
			1位（中学生女子 50mバタフライ）
			1位（高校生男子 50m自由形）
			2位（小4以下男子 50mバタフライ）
			2位（中学生男子 50mバタフライ）
			2位（30～34歳男子 50mバタフライ）
			2位（30～34歳男子 50m背泳ぎ）
			3位（小5・6女子 50mバタフライ）
			3位（高校生男子 50mバタフライ）
			3位（18～29歳男子 50m背泳ぎ）

②秋季大会 開催日 9月21日（土）・22日（日）

競技名	開催地	派遣人数	主な結果（入賞等）
バレーボール	田川市、添田町、芦屋町	85	3位 青年男子
バドミントン	嘉麻市、小竹町、桂川町	38	1位 壮年混成男女 3位 青年
バスケットボール	飯塚市	59	
弓道	水巻町	—	（台風接近のため中止）
ソフトテニス	飯塚市、直方市	—	（台風接近のため中止）
テニス	飯塚市	8	
卓球	岡垣町	22	2位 青年
柔道	宮若市	12	
陸上	嘉麻市	—	（台風接近のため中止）
剣道	中間市	12	
ソフトボール	川崎町、香春町、糸田町、 福智町、大任町	—	（台風接近のため中止）

③ 冬季大会 開催日 11月17日（日）

競技名	コース	成績
第6回市町村対抗 「福岡駅伝」	筑後広域公園駅伝コース（筑後市）	第23位（60市町村中） タイム：1時間42分51秒

○表彰・奨励事業〔スポーツ推進室〕

(1) スポーツ功労者表彰

本市において、多年にわたり体育、スポーツの普及振興に寄与し、その功績が顕著である者、またはスポーツ競技会において抜群の成績をあげ、その競技の発展に尽くした功績が顕著である者に対し、それぞれ功労賞と記録賞（最優秀賞、優秀賞、奨励賞）を授与しました。例年、スポーツ市民の祭典時に表彰を行っています。

①功労賞

中嶋貴美子	バレーボールの普及、発展並びに競技力の向上に貢献
富崎 克巳	バスケットボールの普及、発展並びに競技力の向上に貢献
竹谷 浩明	陸上競技の普及、発展並びに競技力の向上に貢献
向江 剛	スポーツ少年団の普及、発展並びに青少年健全育成に貢献
猿渡 高德	剣道の普及、発展並びに競技力の向上に貢献

②記録賞

ア 最優秀賞

石原 愛依	第7回世界ジュニア水泳選手権大会	女子 200m平泳ぎ 3位 女子 200m個人メドレー 3位
-------	------------------	-----------------------------------

イ 優秀賞

田中 裕大	第41回全国高等学校柔道選手権大会	男子個人73kg級 優勝
光岡 岳人	第41回全国高等学校柔道選手権大会	男子個人 66kg 級 3位
森 健心	令和元年度全国高等学校総合体育大会 柔道競技大会	男子個人100kg級 優勝
竹市 大祐	令和元年度全国高等学校総合体育大会 柔道競技大会	男子個人81kg級 優勝
山口葵良梨	令和元年度全国高等学校総合体育大会 柔道競技大会	女子個人63kg級 優勝
明光学園高等 学校ハンドボ ール部	第42回全国高等学校ハンドボール選抜 大会	ハンドボール女子 優勝
	令和元年度全国高等学校総合体育大会 ハンドボール競技大会	ハンドボール女子 優勝
大牟田高等学 校柔道部	令和元年度全国高等学校総合体育大会 柔道競技大会	男子団体 準優勝
椿原 成將	第73回国民体育大会水泳競技	少年 B 400m フリーリレー 3位

ウ 奨励賞

谷口 竜輝	第54回全国高等専門学校体育大会	男子200m自由形 優勝
	第25回全国高等専門学校水泳競技大会	男子400m自由形 優勝
石本慎太郎	九州ジュニア柔道体重別選手権大会	男子個人100kg級 優勝
服部 大喜	令和元年度全九州高等学校体育大会 第69回全九州高等学校柔道競技大会	男子個人100kg超級 優勝
水野 皓太	令和元年度全九州高等学校体育大会 秩父宮賜杯第72回全国高等学校陸上競 技対校選手権大会 北九州地区予選会	男子三段跳 優勝

エ 特別賞

明光学園高等 学校ハンドボ ール部	第42回全国高等学校ハンドボール選抜 大会	ハンドボール女子 優勝
	令和元年度全国高等学校総合体育大会 ハンドボール競技大会	ハンドボール女子 優勝
	令和元年度第79回国民体育大会	ハンドボール少年女子 優勝

【視点3】スポーツがしやすい環境づくり

市民が身近なところで、いつでも気軽に運動やスポーツ活動へ参加ができるよう、多様なスポーツの場の充実を図るとともに、必要に応じて指導を受けることができるよう、指導者の養成確保、資質向上やきめ細やかなスポーツ情報の提供などに努め、スポーツがしやすい環境をつくります。

また、老朽化した施設への対応をはじめ、安全で快適なスポーツ環境の整備・充実に努めます。

【主な事業・取組】

○スポーツ施設整備事業〔スポーツ推進室〕

(1) 各種体育施設の整備・改修等

本市は、市民体育館、御大典記念グラウンド、延命球場等多くのスポーツ施設を有していますが、各施設は老朽化しており、日本スポーツ振興センター助成事業（toto くじ助成）等を活用しながら、補修、改修等工事を随時実施しています。

また、公共施設維持管理計画に基づき中・長期的な視点に立ち大規模改修等工事を行うなど、安心・安全に利用できるよう施設整備に努めています。

(2) 学校体育施設開放事業

地域住民の日常スポーツの場として、学校教育に支障をきたさない範囲で小・中学校の体育施設（体育館、運動場、中学校剣道室・柔道室、宅峰中弓道場、甘木中運動場夜間照明施設）を一般に開放しました。

	H29 年度	H30 年度	R 元年度
利用団体	278	219	245
利用件数	13,826	11,958	11,407
利用人数(人)	209,993	192,948	178,218

○（仮称）大牟田市総合体育館整備基本計画の策定

現在の市民体育館はS49年築で老朽化が進み、バリアフリー化や旧耐震基準である等の問題を抱えています。このため、安心・安全で快適な、そして身近で誰もが使いやすい総合体育館の整備に向けて、「（仮称）大牟田市総合体育館整備基本計画」を策定しました。

この計画の基本コンセプトは「スポーツや運動を通じて、ひとを健康に、まちを元気にする緑に囲まれた総合体育館」と掲げ、この基本コンセプトに基づき、従来のスポーツ拠点機能に加え、他の公共施設における市民活動の場を取り込むことで、市民がスポーツをはじめ様々な活動を通じて集い交流するスポーツ拠点施設を形成することとして、R5年度中の完成を目指します。

○指導者育成事業〔スポーツ推進室〕

(1) 指導者の確保・育成のための研修会等の実施

①スポーツ少年団指導者研修会

スポーツ少年団の指導者を対象に、安全なスポーツ指導及び資質の向上を図るために、研修会を行う予定でした。

期日	場所	研修内容	参加者(人)
R2年3月13日(金)	市民体育館研修室A、アリーナ	「小学生でも多いスポーツでの腰痛～間違った体幹トレーニングしていませんか」	—

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

②スポーツ医科学研修会（指定管理者）

生涯スポーツを実施するにあたり、スポーツを通じた健康増進の知識を習得し、スポーツ活動において健康なからだづくりを目指すことを目的に研修会を開催しました。

期日	場所	研修内容	参加者(人)
R2年2月19日(水)	市民体育館研修室A	中高年の体力低下への対策 「人の一生の変化とスポーツ」	105

○スポーツ情報提供事業〔スポーツ推進室〕

(1) スポーツカレンダー等による大会・施設の情報発信

日本スポーツ振興センターの助成事業を活用し、種目毎のスポーツイベントの開催、スポーツ施設の紹介、スポーツ少年団一覧、ニュースポーツ用具の貸出紹介など本市のスポーツ情報を掲載したスポーツカレンダーを作成し、市民に配布を行い、スポーツ実施の機会づくりの啓発・普及を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R 元	指標・目標値設定の根拠
1年間のうち、週1回以上の運動・スポーツの実施率	目標値 (%)	30.0	35.0	40.0	45.0	「まちづくり市民アンケート」集計結果より。本市スポーツ振興計画に掲げる目標値(H32_50.0%)を基に目標値を設定 [現状値:25.3%(26年度実績)]
	実績値 (%)	25.5	24.9	41.6	46.3	
	達成度 (%)	85.0	71.1	104	102.9	

【指標達成度に対する要因分析】

- 本市のスポーツ振興計画では、「誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり」、「活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり」、「スポーツがしやすい環境づくり」の3つの基本施策のもと、各種事業を実施しています。
- 事業実施に当たっては、スポーツ都市宣言推進協議会、体育協会、スポーツ推進委員協議会等と連携し、スポーツに楽しめる教室や地域スポーツ行事など、地域や年齢層に応じた多様なスポーツ活動の機会を提供しました。
- 成果指標については、46.3%と、前年度と比較して4.7ポイント増となっており、本市のスポーツ振興計画に掲げる目標値を達成することができました。
- 今後更に目標達成に向けて、日頃からスポーツや運動をしていない人への情報提供や実施に向けたアプローチが必要と考えます。

【今後の方向性】

- スポーツ・運動を普段していない人に向けて、スポーツ・運動の持つ効果を発信することにより、関心を持ってもらい、スポーツに気軽に参加できるような機会づくりに努めます。
- 市民の誰もがどこでも生涯にわたり、スポーツに親しみ健康で明るい生活を送るためには、さまざまな市民団体等との連携が必要であり、また、幅広い市民の方がスポーツに触れることができるよう、さまざまな機会を捉え、各種事業のタイムリーな情報提供を行い、参加者の増を図ります。
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピックが新型コロナウイルスの影響で一年延期となったことを受け、引き続きホストタウン事業や本市での聖火リレーを通して、市民にスポーツの魅力を発信し、スポーツ振興、地域活性化に向けた諸事業を推進していきます。
- 体育館の施設整備計画及び事業手法等を定めた「(仮称)大牟田市総合体育館整備基本計画」に基づき、R2年度は基本設計を行い、R3年度～R5年度は実施設計と工事施工を一括発注するデザインビルド方式にて進めていきます。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第7章】 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち
<p>郷土の歴史や遺産を大切に継承・活用し、郷土を愛する気持ちと誇りをはぐくむとともに、市民が文化芸術を通して心豊かで充実した生活を送ることができる文化の薫るまちを目指します。</p>	

（視点1）まちの歴史や文化を知る・学ぶ

世界文化遺産に登録された三池炭鉱関連施設などをはじめ、地域に残されている近代化遺産や有形・無形の文化財の適切な保存や、それらの歴史を「見える化」するなどの活用に向けた取り組みを通して、郷土の歴史や文化に触れる機会を充実します。

【主な事業】

●近代化産業遺産活用事業〔世界遺産・文化財室、総合政策課〕（72ページ参照）

（1）近代化産業遺産を活用したまちづくりの推進

①啓発グッズの作成

近代化産業遺産の記憶を次世代に伝えていくため、近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会と共に、オリジナルポロシャツ等の啓発グッズを作成、販売しました。

②小学生を対象にした近代化産業遺産見学会の実施

市内小学校の全6年生を対象に、三池炭鉱関連の近代化産業遺産を見学する、バス見学会を実施しました。

参加者数 880人

③世界遺産絵画コンクール

世界遺産登録4周年を記念して、夏休みに小中学生を対象に「～私の好きなおおむた世界遺産のある風景～」絵画コンクールを実施しました。

応募作品265点（うち、入賞作品67点）

入賞作品の巡回展示

と き 12月～R2年2月

会 場 イオンモール大牟田、大牟田市役所、ゆめタウン大牟田

④環境美化活動の実施

ア 宮原坑駐車場への地域の方々による花の植栽

駿馬校区まちづくり協議会

イ 三川坑跡での市民、団体等による日本庭園の清掃等

NPO法人三池港未来のまちづくり会、市民の方々

（2）世界遺産関連施設の価値の啓発

①市内近代化遺産一斉公開の実施

文化財保護強調週間及び全国近代化遺産活用連絡協議会事業「近代化遺産一斉公開2019」の一環として、「炭鉱の祭典実行委員会2019」を実施主体とし、「炭鉱の祭典2019」を実施しました。

と き 11月3日（日・祝）

公開施設 宮原坑、万田坑、三池炭鉱専用鉄道敷跡、三池港、旧長崎税関三池税関支署、三川坑跡（炭鉱電車）、旧三川電鉄変電所、石炭産業科学館

見学者数 20,238人

②宮原坑、三池港展望所、旧長崎税関三池税関支署の定期公開

宮原坑、三池港展望所は毎週月曜日および年末年始を除き毎日公開し、旧長崎税関三池税関支署は土日曜・祝日のみ公開しました。

見学者数 16,534人(宮原坑)、16,405人(三池港展望所)、
1,228人(旧長崎税関)

※11月3日の一斉公開見学者数は除く。

③宮原坑世界遺産啓発イベントの実施

平成最後を彩る世界遺産啓発イベント「宮原坑 平成彩(へいせいさい)」を開催しました。

と き 4月29日(月・祝)、30日(火・祝)
内 容 三池炭鉱人生ゲーム、竪坑櫓のライトアップ、近代化産業遺産めんこラリー、こどもバス運転士体験、ジャー坊饅頭販売、コスモスの種まき・種配布など

来訪人数 538人

④旧長崎税関三池税関支署でのイベント実施(「三池炭鉱へようこそ」事業)

ア 日本フィル@世界遺産

R2年2月15日に開催された「日本フィルハーモニー交響楽団」大牟田公演のプレコンサートとして、弦楽四重奏(ヴァイオリン×2、ヴィオラ、チェロ)を実施しました。

と き 11月21日(木)

参加人数 60人

イ Jazz Night in 世界遺産

光の航路の時期に合わせ、ジャズコンサート(出演3組)を開催しました。

と き R2年1月25日(土)

参加人数 60人

⑤パンフレットの作成

世界遺産三池炭鉱・三池港について詳しく解説したパンフレットを5,000部作成しました。

(3)世界遺産の管理・修復・活用

①史跡「三井三池炭鉱跡」の保存・管理

ア 適切な施設の維持管理のため、樹木の伐採や、除草清掃を行いました。

イ 今後の史跡整備に向けて基本的な考え方をまとめた、「三池炭鉱跡の保存・公開・活用に関する計画(H29年度策定)」に基づき、宮原坑及び専用鉄道敷跡の発掘調査、測量調査を行いました。

②大牟田市近代化遺産保存活用基金

大牟田市近代化遺産保存活用基金を、市内の近代化遺産の保存・整備に活用するためにH18年度に設置しました。

R元年度は市指定文化財「三井港倶楽部」所有者三井松島産業(株)から申請があり、三井港倶楽部電気設備の更新事業で基金から95万円拠出しました。

(単位：千円)

H30年度決算に伴う 基金高 ①	R元年度中の増減額		R元年度決算に伴う 基金高①+②-③
	積立額 ②	取崩額 ③	
46,741	3	950	45,794

○文化財保護事業〔世界遺産・文化財室〕

(1) 指定文化財の保護

①指定文化財の管理

ア 指定文化財地内除草清掃（宮原坑跡、万田坑跡、鉄道敷跡、潜塚古墳、早鐘眼鏡橋）及び定期点検（毎月）、災害時点検を実施しました。

イ 国指定史跡「萩ノ尾古墳」の石室内部の保存環境について、定期的な記録管理を行いました。

(2) 文化財の調査・公開・活用

①埋蔵文化財発掘調査（国・県補助事業）

ア 試掘・確認調査

各種開発に伴う事前の文化財の有無に関する問合せが560件あり、そのうち試掘・確認調査を行ったのは15件でした。本調査に至ったものはありませんでした。

②文化財防火デー

ア 国登録文化財「旧三池炭鉱三川電鉄変電所（信号電材株式会社本社）」において、文化財防ぎょ訓練を実施しました。

と き R2年1月26日（日）

イ 文化財防火デーを周知するため、ポスターを国指定・登録文化財（建造物）所有者に配布し、掲示を依頼しました。

ウ 県指定文化財「慈覚大師坐像」「薬師如来坐像」が安置されている普光寺本堂と、旧長崎税関三池税関支署の防火設備の点検を行いました。

④文化財保護強調週間

11月3日（日・祝）に近代化遺産一斉公開を実施しました。

（「近代化産業遺産活用事業」の（2）①（113ページ）を参照）

⑤銭太鼓踊り保存会補助

市指定無形民俗文化財「ぜんでこ踊りとひゅうたん廻し」の保存団体であるぜんでこ踊り保存会へ補助金を交付しました。

⑥常設・企画展示の充実（三池カルタ・歴史資料館）

三池カルタ・歴史資料館が行う常設・企画展に対し、協力・助言・指導を行いました。

（常設・企画展の内容については、「社会教育施設等の状況 三池カルタ・歴史資料館」（178～181ページ）を参照）

(3) 文化財保護の啓発

①文化財説明板の更新

市指定文化財「本村の四仏塔婆」の文化財説明板を更新しました。

②出前講座等の実施

大牟田の成り立ち・歴史について広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

ア 講師派遣・視察対応

講師派遣11件

イ 各種事業への共催等の実施

後援3件

③文化財講演会の実施

宮原坑国史跡指定20年を記念して文化財講演会を実施しました。

と き R2年1月18日（土）

会 場 石炭産業科学館 2階 オリエンテーション室

講 師 奈良大学文学部文化財学科教授 坂井 秀弥

タイトル 「近年の文化財政策と地域づくりの展開」
参加者数 16人

【視点2】文化芸術事業の充実

質の高い文化芸術に触れる機会と、身近な場所で文化芸術に触れる機会の充実を図ります。あわせて、若い世代が関心を持つような文化芸術事業の開催や、絵本やカルタなど本市の特性を活かした事業の充実を図ります。

【主な事業】

○多様な文化芸術提供事業〔生涯学習課〕

(1) 大牟田市民文化のつどい事業

市民の文化活動の発表の場を充実させ、芸術鑑賞の機会を設けることにより、市民の文化芸術に対する理解を深め、もって地域文化の創造と発展に資するために開催しました。

事業数 19件

入場者数 12,135人

事業名	主管団体名	とき	ところ
第66回青々水彩画協会公募展	青々水彩画協会	4月9日(火)～ 4月14日(日)	文化会館展示室他
第27回ありあけ山野草会 展示会	ありあけ山野草会	4月18日(木)～ 4月20日(土)	文化会館展示室
三流派合同茶会	大牟田茶道連盟	4月28日(日)	文化会館和室他
日本舞踊幸若流 創立20周年 記念チャリティー発表会	大牟田民舞協会	5月12日(日)	文化会館大ホール
フルスコンサート	大牟田フルス協会	5月19日(日)	文化会館大ホール
大牟田能楽会 素謡・囃子の会	大牟田能楽会	6月23日(日)	文化会館小ホール
歌謡フェスティバル2019	九州歌謡連盟	7月21日(日)	文化会館大ホール
上津原仁子バレエ研究所 第10回勉強会	大牟田バレエ協会	8月3日(土)	文化会館小ホール
創作太鼓と郷土芸能の祭典	おおむた和太鼓 愛好会	8月25日(日)	文化会館大ホール
大牟田押花フェスタ2019	大牟田押花の会	9月19日(木) ～9月22日(日)	文化会館展示室
クラシックギターのつどい	大牟田クラシック ギター愛好会	10月5日(土)	文化会館大ホール
ふるさと大牟田の歴史と 文化講座	三池史談会	10月12日(土) 10月26日(土)	文化会館研修室
三曲(箏・三絃・尺八)演奏会	大牟田三曲協会	10月20日(日)	文化会館小ホール
第68回大牟田美術展	大牟田美術協会	前期:10月22日(火・ 祝)～10月27日(日) 後期:11月1日(金) ～11月6日(水)	文化会館展示室他

事業名	主管団体名	と き	と ころ
俳句大会	大牟田俳句連合会	10月25日(金)	文化会館研修室
44周年華道展	大牟田文化華道連盟	11月9日(土) ～11月10日(日)	文化会館展示室
第38回大牟田市民音楽フェスティバル2019大牟田合唱祭	大牟田音楽連合会 (大牟田合唱連盟)	11月10日(日)	文化会館大ホール
第62回吟剣詩舞道大会	大牟田吟詠連盟	11月17日(日)	文化会館小ホール
各流派合同日本舞踊勉強会	大牟田日本舞踊協会	12月1日(日)	文化会館小ホール

○子どもの文化芸術体験事業〔生涯学習課〕

(1) まちの芸術家派遣事業

子どもが質の高い文化芸術に触れ、豊かな感性を育む機会をつくるため、文化芸術活動者を学校へ派遣し、学校教育における文化芸術の鑑賞、体験等の機会の充実を図りました。

事業数 14件

学校名	ジャンル	派遣団体	と き
中友小学校	茶道	茶道裏千家淡交会大牟田学校 茶道連絡協議会	6月17日(月)
中友小学校	文学(おはなし会)	おはなしの森	6月24日(月) 6月25日(火) 6月27日(木)
吉野小学校	茶道	茶道裏千家淡交会大牟田学校 茶道連絡協議会	10月21日(月)
明治小学校	茶道	茶道裏千家淡交会大牟田学校 茶道連絡協議会	10月28日(月)
吉野小学校	押花	花みずき会	10月28日(月)
銀水小学校	茶道	茶道裏千家淡交会大牟田学校 茶道連絡協議会	11月25日(月)
中友小学校	文学(おはなし会)	おはなしの森	11月22日(金) 11月25日(月) 11月27日(水)
駛馬小学校	茶道	茶道裏千家淡交会大牟田学校 茶道連絡協議会	11月29日(金)
吉野小学校	華道	大牟田文化華道連盟	12月2日(月)
倉永小学校	音楽(古典)	大牟田三曲協会	R2年1月22日(水)
中友小学校	音楽(古典)	大牟田三曲協会	R2年1月29日(水)
銀水小学校	華道	大牟田文化華道連盟	R2年2月10日(月)
中友小学校	文学(おはなし会)	おはなしの森	R2年2月17日(月) R2年2月18日(火) R2年2月20日(木)
羽山台小学校	押花	花みずき会	R2年2月26日(水)

(2) 文化芸術を通じたコミュニケーション能力アップ事業

羽山台小学校演劇ワークショップ

講師に平田オリザ氏を招き、演劇づくりを通して他者と協力したり、自分を表現できるコミュニケーション能力を育むワークショップを行いました。

と き 10月16日(水), 11月26日(火)

と ころ 羽山台小学校

対 象 5年生 63名

○若者の関心に合わせた文化芸術事業〔生涯学習課〕

ダンスによる若者育成事業 ダンスチャレンジおおむた

高校生が小中学生にダンスを教えるダンスワークショップや市内高校ダンス部のステージ発表のほか、小学生から高校生を対象に市内外から参加者を募ったダンス大会を開催しました。

と き R2年1月19日(日)

と ころ 文化会館 大ホール

参加者数 700人

○本市の特色を活かした文化芸術事業〔生涯学習課〕

(1) テーマ別(絵本、漫画・アニメ) 展覧会

三池カルタ・歴史資料館の秋の企画展「なつかしのまんがカルタまつり」にあわせ、本市出身の漫画家や炭都時代の漫画文化を含め、本市の歴史や文化を紹介しました。また、映画『いのちスケッチ』は、瀬木監督が大牟田出身の漫画家・三隅健さんの作品にインスパイアされて製作されたこともあり、今回の企画展に映画や三隅健さんを紹介する展示を設けました。

さらに、特別企画としてトークショーやミュージアムガイドを実施しました。

①なつかしのまんがカルタまつり

展示内容は、なつかしのまんがカルタ、大牟田ゆかりのまんが家大集合、映画『いのちスケッチ』コーナー、三隅健の描く世界をしました。

と き 10月1日(火)～12月8日(日)

と ころ 三池カルタ・歴史資料館 展示室

観覧者数 3,422人

②トークショー「大牟田が生んだ漫画家と大牟田から生まれた映画」

映画『いのちスケッチ』と漫画のかかわりや大牟田の漫画家の魅力についてのトークショーを開催しました。また、カルタックスおおむた集会室にて、三隅健さんの原画を展示しました。

出 演 者 瀬木直樹(映画『いのちスケッチ』監督)、神村正樹(小学館漫画編集)
道山れいん(詩人・大牟田大使)

と き 10月20日(日)

と ころ 三池カルタ・歴史資料館 展示室

参加者数 80人

③ミュージアムガイド

企画展に資料協力した漫画研究家・コレクターである原田誠一さんによる『大牟田ゆかりのまんが家大集合!!』のコーナーを中心に、展示の見どころや大牟田出身の漫画家の紹介をしました。

と き 11月24日(日)

と ころ 三池カルタ・歴史資料館 展示室

参加者数 18人

(2) カルタ文化の普及

国内唯一の公立カルタ資料館を有していることからカルタ文化の普及啓発事業を実施しました。

(内容等については、「社会教育施設等の状況 三池カルタ・歴史資料館」(178～181ページを参照)

○文化芸術を通じたコミュニケーション能力アップ事業〔生涯学習課〕

講師に平田オリザ氏を招き演劇の手法を活用して他者と協力したり、自分を表現できるコミュニケーション能力を育むほか、多様な価値観をもつ人との対話に必要なことについて理解を深める講演会やワークショップ、研修を行いました。

内容	対象	とき	ところ
市職員研修	市職員	10月15日(火) 11月27日(水)	文化会館
小学校ワークショップ	羽山台小学校5年生	10月16日(水) 11月26日(火)	羽山台小学校
講演会	教職員・一般参加者	11月26日(火)	羽山台小学校

○広域連携による文化芸術事業〔生涯学習課〕

(1) 有明圏域定住自立圏文化振興会議

圏域4市2町による文化振興会議を開催し、効果的な文化芸術情報の発信や魅力的な共同文化事業の実施について協議しました。

と き 7月26日(金)

と ころ 文化会館 憩いの mori

(2) 広域連携の取組み

有明圏域定住自立圏共生ビジョンに基づき、従前より実施している「有明美術展」を開催したほか、R元年度は各市町の文化事業を写真で紹介する巡回展を実施しました。また、圏域内の自治体4市2町で圏域内の文化事業に関する情報の効果的な発信として各自治体に定住コーナーを設けています。

（視点3）文化芸術活動への参加機会の充実

多くの市民が文化芸術活動に気軽に参加し、親しんでもらうために、初心者向け講座や休日開催など、参加しやすい事業の充実に努めます。また、文化芸術活動を行う市民団体への支援と団体相互の連携を促進し、参加機会の充実に努めます。

【主な事業】

○文化芸術活動参加促進事業〔生涯学習課〕

（1）大牟田市民文化のつどい事業における公募

大牟田市民文化のつどい事業において、広く公募を行い、文化のつどいの1事業として実施しました。

公募事業 フルスコンサート
と き 5月19日（日）
ところ 文化会館大ホール

（2）各種共催事業等の実施

各種文化芸術事業への共催等による支援を行いました。

共催・後援件数 84件

○文化団体等育成・支援事業〔生涯学習課〕

（1）おおむたっ子がんばれ奨励金事業

施策「心豊かでたくましい青少年がはぐくまれるまち」の「（視点3）スポーツ・文化芸術活動を通じた青少年の心身の育成」の同名事業（82ページ）を参照してください。

（2）大牟田文化連合会運営補助金の交付

文化芸術活動を促進するため、各種芸術分野の団体で組織された「大牟田文化連合会」に運営補助金を交付しました。

（3）福岡県中学校文化連盟負担金の交付

生徒の文化芸術等を支援するために、市内中学校在籍生徒数に応じ、中学校文化連盟負担金を交付しました。

(視点4) 文化芸術の環境づくり

市民団体と、学校、地域、商店街等との連携を促進することで、市民交流の拡大や街のにぎわいづくり、伝統芸能の継承など、市民が身近なところで文化芸術に親しめる環境づくりを進めます。あわせて、文化施設の適切な維持・補修及び機能充実に努めます。

【主な事業】

○街かどのにぎわい創出事業〔生涯学習課、産業振興課〕

様々な場所で文化芸術活動が実施され、まちのにぎわいが創出されるよう、文化芸術事業に対して共催・後援を行い、広報おおむたへの掲載や、チラシ、ポスターの配布などによる支援をしました。

○郷土伝統芸能保存継承事業〔生涯学習課、世界遺産・文化財室〕

毎年、市指定無形文化財「岡天満宮祭礼行事」の担い手であるぜんでこ踊り保存会に対して、保存活動事業に要する経費について補助金を交付しており、R元年度についても実施しました。

○文化施設整備事業〔生涯学習課〕

大牟田文化会館はS61年（1986年）、カルタックスおおむたはH3年（1991年）にそれぞれ開館しました。これらの施設は老朽化が進む中、計画的な予防保全が必要となっていることから、公共施設維持管理計画に基づき、維持補修に取り組みました。

- ・文化会館 駐車場改修工事、館外水銀灯更新工事、小ホール調光室空調設置工事など
- ・カルタックス エレベーターリニューアル工事、駐車場出入口ドア改修工事など

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
1年間のうち、何らかの文化芸術活動（テレビやインターネット等での鑑賞は除く）への参加率	目標値（%）	30.0	33.0	36.0	40.0	「まちづくり市民アンケート」集計結果より。文化庁「文化芸術の振興に関する基本的な指針」の成果指標（H32_40.0%）を基に目標値を設定〔現状値：23.8%（26年度実績）〕
	実績値（%）	25.7	27.1	26.2	20.9	
	達成度（%）	85.7	82.1	72.8	52.3	

【指標達成度に対する要因分析】

- 文化財に関する各種講座の実施、近代化遺産一斉公開（炭鉱の祭典）などのイベントの開催など、郷土の歴史への興味関心を高める事業を数多く実施したことで、市民の郷土を愛する気持ちと誇りを育みました。
- 市民文化のつどいとして年間で19の事業を実施し、活動発表の場と鑑賞の場を設けるとともに、公募事業や賛助出演により新規参加の受入れを行い、多様な文化芸術活動の推進に努めました。
- 文化芸術を通じたコミュニケーション能力アップ事業は、社会の変化に対応したまちづくりや支え合い、認め合う地域づくりをともに進めていく土壌づくりに繋げていきたいと考え、平田オリザ氏による講演会やワークショップを実施しました。
- 市民参加を促進するため、広報おおむたやホームページ、愛情ねっと等を活用するとともに、チラシやポスターを公共施設に配布するなどし、幅広く文化事業の開催等の周知を行いました。また、若者の文化芸術活動への参加を促進するため、R元年度もダンスによる若者育成事業に取り組みました。さらには、本市の特色を生かした文化芸術事業として、カルタ・歴史資料館の企画展に併せ、本市出身の漫画家にスポットを当てたイベントを実施し、本市の魅力を市内外へ発信しました。
- 市民が文化芸術に直接触れることができる機会の充実と、そのきっかけをつくる取組が必要です。
- 新型コロナウイルスの影響で各種イベント等が中止・延期となり、文化芸術活動への参加の機会が減少したことが、指標の実績値に影響した可能性があります。

【今後の方向性】

- 世界遺産をはじめとする近代化遺産や文化財の保存・活用を進め、多くの市民がまちの歴史や文化に対する理解を深め、それがまちへの愛着と誇りにつながるよう取り組みます。
- R元年度からの新しい「大牟田市文化芸術振興プラン」に基づき、「文化芸術に親しみ心豊かに生活できるまち」を大きな目標としてさまざまな施策に取り組みます。特に本計画期間にあっては、次世代を担う人づくりに力を入れ、文化芸術を通じた子どもや若者の育成を図る施策を推進します。
- 文化芸術団体や大牟田市文化振興財団等と連携し、市民が文化芸術に直接触れる機会の充実を図ります。

